

27X

21

49





武家事紀卷第十八目錄

續集



十初拔

阿井牛粉

結林

結中

井內

赤

赤良左道

阿波

松山

吉成

加

阿

三好

阿

武家事紀卷第十八

武家事紀卷第十八

續集

諸家陪臣

三好家

十河杖久

十河一族也後屬松永
打取牧野伊与守父傳藏

鎗林

阿井牛助

鎗中村

新兵衛

井内蛙助

市田鹿目久

奈良左近

市田共戰死
六条

阿波鳴渡久

鎗ニ鈴ヲ付テモ多ク
後事小西行長

松山新久

吉成勘久

加也弥左允

後事明智三秀額髮ノアル時ヨリ此名ヲ付三秀キイテ
父祖ノ名ナリヤト問自身コレヲ名トスト云三秀乃武者奉行タラシム

三好宗三

初名神
五郎

同為三

下野
守弟



三好三人衆

三好日向守

同下野守

岩成主税助

若江七人衆

小野庄介

後仕石田三成後剃髮号覺雲仕淺野幸長

大庭土佐

後仕石田三成

高野越中

後仕石田三成初名左馬助後仕淺野幸長改平尾刑部剃髮号道齋

安井喜内

後仕德善院其後在淺野幸長家

牧野傳藏

後改伊与守仕瀧河一益武藏野役力戰後仕石田三成遂列御家人

森九兵衛

後仕蒲生氏卿後仕石田三成

富田喜太郎

後仕瀧川一益於武藏野力戰後仕前田利家改藏人大聖寺城攻ニ戦死

富田ハ秀次懇遇離倫因之秀次滅亡ノ時殉死ノ沙

汰アツテ秀次ノ忌日々々ニハ寺々へ見物ノ輩為群ト

イヘ凡富田イカ、思ケルニヤ殉死ヲ止富田モコレユヘ

武ヲヤメテ蟄居ノ処前田利家七千石ヲ与ヘテコレヲ

扶助ス富田某事ハヒケノアルモノナレハ不入事ナリト

辞ストイヘ凡茶友夕キニセントアリテ懇遇ス庚子大

聖寺城責ニ晴ナル戦死セリ

以上七人衆ト号スコレハ三好笑岩カ家人凡ナリ関白秀

次ハレメ三好笑岩カ養子タリ後秀次有故テ三好家

ヲ立退ノ時此七人秀次ニ隨テ立退後テテ秀次ニ仕

ユユニ秀次諸家ノ勇士ヲアツメ馳走ノ時此者トモヲ
若江ノ七人衆ト号セル也
又云塩川左助ヲ加テハ若江八人衆ト号之
在々後改志
才又名喜在
衛門仕石田三成後在蜂須賀家

信長ノ時河内若江三人衆

池田丹後守 多羅尾常陸介 野間左吉 後信長家臣

朝倉家

山崎長門守吉継 一作吉家 初名七郎左衛門 刀祢山戰死 同庄兵衛 吉継子後改長門 守仕前田家

朝倉中務太輔景恒 九郎左衛門景紀子 金崎城主朝倉 滅亡時戰死 魚住玄番允 父ヲ魚住備後守 景固ト号降信長

黒坂備中守 姉川戰死 浅倉孫三郎景健 右兵衛景隆季子 姉川戰越前勢大將 後降信長改安居

前羽九郎兵衛吉継 江北對陣時一番降信長改桂田橋廣守長後暫為 越前守護職

朝倉式部太輔景鏡 大野城主降信長且執義景改土橋後歸本領

溝江大炊助 後降信長

富田弥六 降信長領府中後起一揆殺桂田魚住父子土橋暫押領 越前門徒衆蜂起富田戰死

真柄十郎左衛門 姉川戰死大力勇士子十郎亦戰死

印牧六左衛門 刀祢山戰生捕 終自殺大勇士 朝倉権守 後改彦四郎 十六歳刀祢山戰死犬 間源三長吉打取之

無双美童

陣舎來

浅井家

赤尾美作守

浅井滅亡ノ時生捕
誅死

細江左馬助

姊川役佐々成政
打取之

磯野丹波守

佐和山城主後属
信長

浅井雅樂助

姊川役前田利家
打取之

大野土左守

後降信長

三田村左衛門

後降信長

野村肥後守

同兵庫以上四
人守横山城

高宮三川守

高宮
領主

遠藤喜右衛門

浅井家勇士姊川役
竹中久作打取之

上坂五介

遠藤同意之勇士
姊川戰死

安養寺三郎兵衛

姊川役森九兵衛
稻葉刑部生捕之
同二郎四郎
森乱丸打取之
同三郎四郎
織田素丸打取

井口越前守

千田采女正

大禿城兩人守之

浅井新五新六

戸田半丞

毛屋七丞

浅井孫八

同半兵衛

大橋善太夫伊府藤七

此等淺井家聞間敷組ト号ス八相戰毛屋大橋淺井新五新六同半兵衛戰死

阿閉淡路守

山本山城主後降信長

同孫五郎

淡路守子右勇士夕信長有事後父子屬明智光秀

淺井石見守

淺井滅亡時生捕信長面謁甚叱信長々々以杖打之誅死

赤尾孫次

義作守子小谷陷時父生捕孫次十五歲自尋至仰希與父同誅信長感免長久手役戰死小名虎千代

木村太郎二郎

小谷陷時長政介錯後戰死

新井家

佐々木家

後藤但馬守

後誅戮末子喜三即定豐相續定豐後降信長々々有事時屬明智光秀出山崎戰場

三上越後守恒安

三井新五郎治秀

青地入道道徹

道徹無子養蒲生下野守定秀子号青地駿河守茂綱後屬信長坂本合戰戰死

永田備中守賢弘

同刑部景弘

池田孫次郎景雄

平井加賀守定武

馬淵山城守宗綱

同兵部大夫建綱

三雲對馬守定持

同新左衛門尉成持

進藤山城守賢盛

猶崎太郎左衛門尉賢道

布施淡路守

狛丹後守

蒲生父子

下野守左兵衛大夫定秀賢秀

右何レモ江州侍佐々木力旗下夕リ後信長ニ屬又明智

光秀江州坂本ニ在城ノ江州ノ諸將ヲ下知スユヘニ阿
閉及池田後藤等属明智ノ山崎軍事ヲ十セリ

小倉三川守 江州佐久良
城主

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

別所長治

由井久次 井上大九郎 山田八右衛門

此三人三木三年ノ籠城ニ度々ノ戦功アリ由井ハ頸
夫ハ井上ハ十一ノ高名アリ山田ハツイニ頸ヲ不取シカ

室レ氏武士ノ位由井井上ニハ一段モ二段モ上ナリト沙
身汰アリ別所滅亡ノ後山田ハ長久手ニツイテ鎗アリ

仕森 由井ハ京極高次ニツカヘテ大津ニ籠城イタレ門
長一 役ヲツトム井上ハ豊臣秀長ニツカヘ長久手ノ前カタ来

名ニテ鎗ノ合ヘキ場ニテ鎗不合アリトイヘリ後
加藤清政ニ大九郎小九郎氏ニツカユ

穗積越中守 足輕大將

光枝道碩 イツレモ有功ノモノ也

飯尾吉右衛門 依藤

三木平山戰敗北兩人後驅秀吉甚稱美之不可打取之後可列家人云々

榊橋左京亮 志方城主

神吉民部太夫 神吉城主

淡河彈正 淡河城主

梶原平三兵衛 高砂城主

長井四郎左衛門 野口城主

衣笠豊前守 端谷城主

室田 岡村 高橋 加古 小寺 黒田

矢田 廣田 服部 加須屋 岳井 有田

久米 端山 小野 砥堀

三宅肥前守治忠 三木落城時介錯長治

限次守

織田信忠

織田五左衛門 織田信長 織田信忠 織田信實 織田信孝 織田信弘 織田信友 織田信成 織田信隆 織田信盛 織田信昌 織田信光 織田信元 織田信俊 織田信勝 織田信直 織田信興 織田信友 織田信成 織田信隆 織田信盛 織田信昌 織田信光 織田信元 織田信俊 織田信勝 織田信直 織田信興

織田信長 織田信忠 織田信實 織田信孝 織田信弘 織田信友 織田信成 織田信隆 織田信盛 織田信昌 織田信光 織田信元 織田信俊 織田信勝 織田信直 織田信興

織田信長 織田信忠 織田信實 織田信孝 織田信弘 織田信友 織田信成 織田信隆 織田信盛 織田信昌 織田信光 織田信元 織田信俊 織田信勝 織田信直 織田信興

織田信長 織田信忠 織田信實 織田信孝 織田信弘 織田信友 織田信成 織田信隆 織田信盛 織田信昌 織田信光 織田信元 織田信俊 織田信勝 織田信直 織田信興

織田信長 織田信忠 織田信實 織田信孝 織田信弘 織田信友 織田信成 織田信隆 織田信盛 織田信昌 織田信光 織田信元 織田信俊 織田信勝 織田信直 織田信興

織田信長 織田信忠 織田信實 織田信孝 織田信弘 織田信友 織田信成 織田信隆 織田信盛 織田信昌 織田信光 織田信元 織田信俊 織田信勝 織田信直 織田信興

織田信長 織田信忠 織田信實 織田信孝 織田信弘 織田信友 織田信成 織田信隆 織田信盛 織田信昌 織田信光 織田信元 織田信俊 織田信勝 織田信直 織田信興

織田信長 織田信忠 織田信實 織田信孝 織田信弘 織田信友 織田信成 織田信隆 織田信盛 織田信昌 織田信光 織田信元 織田信俊 織田信勝 織田信直 織田信興

織田信長 織田信忠 織田信實 織田信孝 織田信弘 織田信友 織田信成 織田信隆 織田信盛 織田信昌 織田信光 織田信元 織田信俊 織田信勝 織田信直 織田信興

織田信忠

鎌田五左衛門

鎌田助允同江次トテ兄二人アリ助允ハ稻生合

戦ニ織田左馬允打取之江次ハ喧嘩ニテ織田左馬允兄薩守殺之五左衛門ハ長篠役ニ信長ノ勦氣ヲ得テ信忠ニツカヘ二条ニテ信忠ノ介錯ヲトケテ退逃共後高麗南門ニテ大戦功アリ

杉村長右衛門初織田彦七小性立ノ者也

彦七者信長一腹ノ三男信兼弟長

嶋早尾城主
為一揆戦死

後佐久間甚九郎ニツカヘ小谷虎御前山

小谷

者浅井居城虎御前山者信長之陳城此間相去五十余町

ノ間日々ノ廻合ニ杉村苗

羽織ヲ著度々ノフリ合ヨシ或時小谷兵偽テ引テ信

長勢マコトニ引ト心得テコレヲ付ケル時小谷兵取テ返

シケルユヘ信長兵敗北杉村カヘシ合セ小谷兵ヲ追拂テ

力戦信長ヨリ軍使二人来テ引トルヘキ旨仰ニ付テ引上

ル也但鎗ハ不合也此時木下秀吉乃杉村ヲ召テヤカテ
黄母衣ヲユルサル織田七兵衛信澄コレヲ招テ木下秀吉ニ
テ三百石ヲ領スソレホト与之トアリケレ信澄ハ異風人
也若氣ニ千カヘハ侍ニ疵ノ付トテ不出此後越前柴田カ
家ニイタル小谷表ノ首尾名高クコトニ秀吉ニテ黄母
衣ヲユルサレタリトテ人々称之越前ノワカキ者凡何条
杉村カサセル^一ヤアルヘキ来月加賀ヘノ勤ニ三ユヘシ十
ト云近藤主冰^水杉江彦四郎十ト云ケルハ来月加賀ヘノ
勤ヲ待内ニ若忠^忠腹オコリテ死シテモ難計左アラシハ
杉村カ心ノタケヲ不見モ残念也心サシノホトハ喧嘩ニ

テ可見ト云杉村キイテ何時モ喧嘩ノアイテニ可成ト札
ヲ立ント云杉村方ノ者以外不可然互ニシリタクハ主恩
ヲ報スルコトク可仕トテ和睦セシメ事ヤ三又加州ノ勤ニ
杉村^杉松木ノアシロク三日丸熊皮ニテヘリヲ取タルニ朱鎗
ヲ持フエタテト云馬ニノリ手取川ノハタニ敵大勢居タル
処ヘノリ付カ戦後信忠コレヲ召勝家人馬ヲカシ用意セ
シメテ岐阜ニ送ル岐阜ニテ疵ヲコリ死

信雄

浅香左馬助

初名水野少千郎信雄ノ電男其比男色無双
関白秀次切雖招之信雄不肯信雄配流後仕蒲

生氏卿領安積郡一石改浅香左馬助氏卿卒後仕石田三成

上條又八

信雄家人後於大坂城属大野主馬首人称之城陷後
仕浅野長晟終与友結冠殺其冠自殺

村瀬左馬助

於長久手戰功後御家人難波役監水野日向守勝
成陳六日有戰功

丹羽左平太

長久手戰功

林藤十郎

上同

長谷川孫八

上同

梶川五左衛門秀盛

小坂孫九郎雄吉

以上兩人

蟬江中入時早大野
ニカケツクル衆也

柴田勝家

柴田源左衛門勝家

毛受注本

原書二即

才心志柴田家

才心志

青木勘七郎

才心志

宿屋七左衛門

水野助五郎

柴田勝家

柴田源左衛門

後改佐渡仕堀秀政

勝家力陣場ノ奉行并ニ軍奉行ヲ勤ム

毛受庄存

於柳瀬代勝家忠死

同茂左衛門

原彦二郎

安井左近

拜江五左衛門

徳山五兵衛

イツレモ柴田家ノ先手ヲツトメ一日替ニ先鋒セシメテ軍事

ヲナス

青木勘七郎

後改新兵衛剃髮号法齋度々ノ戦功アリ賤嶽後余湖海ノ際ニテ与ニ萩野河内鎗後属青木紀伊

寺関原後木者原彦二郎

仕上杉景勝其後属越前秀康卿終仕前田利常青

宿屋七左衛門

賤嶽戦功與加藤清政鎗ト云々後仕前田

水野助三

後改内匠賤嶽戦功後仕前田

水野次右衛門

長嶋一揆ノ時勝家カ馬印ノ五幣ヲ一揆ノ奴原奪取ノ処此者十六歳ニテ小性ナリシカ面モフラス敵ノ中ヘカケ入テ勝家ニサ、クコノ賞ニ因テ領知ヲ与ヘ母衣ヲアタユ

安彦弥左衛門

原勘兵衛

長井五郎右衛門

鷲見

源二郎

鷲津九藏

毛屋新内

小原新七

各賤嶽戦功

関小番

後改坂小番仕氏卿改蒲生源左衛門尉

元柴田伊賀守勝豊カ家人也天正七年勝豊端午ノ

賀儀ニ安土ニ至ルノアトニテ一揆大ニ起リ丸圍城

勝豊居城

ヲ攻コノ時山路將監神屋十兵衛堅守リ力戦シテ

一揆悉退去小番野根ノ七郎ヲ討取関庄藏一利

後改

十兵衛ト氏ニ其比千石ヲ領ス男色ノ好ニヨツテ関庄藏ト

知音タリ庄藏柴田家ヲ立ノ夕時小番モ退去テ氏ニ

蒲生氏卿ニ仕九州征伐豊前岩石ノ城責ニ力戦有

功直ニ秀吉褒称不浅氏卿会津ヲ賜ノ時白石城四万

五千石ヲ領ス関庄藏領猪苗代城

七千石関長門守弟

德永石見守小川土佐守山路將監大鐘藤八神屋十兵

衛各柴田勝豊カ家人也

吉田次兵衛ハ勝豊養父也吉田ハ元勝家草履取ヨリ

取立ラル度々戦功ヲ以テ勝家家臣ノ隨一タリ勝家小

身ノ時ヨリ十分一ヲ可与ト云一ヲ約メケレハ越前七十

五万石ヲ領スルノ時七万五千石ヲ与ユ吉田軍事ニ倦

禄ヲ返シ金銀ヲモライ老後ノ休息ヲ乞因此勝家嫡ノ子伊賀守ヲ養子ニイタシ四万五千石ヲ与へ九岡ニ在城セシメ其身ハ隐居放言ス

丹羽長秀

溝口金右衛門

後改伯耆守

村上二郎右衛門

後改周防守

坂井與右衛門

六条合戰有戰功

江口三郎右衛門

安粮寺猪介

瀧川一益

篠岡平右衛門

元一益カ道具持度々勇功ヲ以テ立身一方ノ將タリ武藏野戰死

瀧川儀太夫

一益甥

日置五左衛門

谷崎忠右衛門

日置谷崎一益ニ属度々戰功谷崎ハ鱒江中入ノ時疵ヲ蒙テ終死

日置勢州日置也

岩田市右衛門

後仕蒲生氏卿或云岩田弟平藏共武藏野役戰死

瀧川彦二郎

後改豊前守仕秀吉勤軍使本氏木股

津田小平次

稲田九藏

以上兩人松枝城主

津田次右衛門

武藏野役戰死

古市九郎兵衛

武藏野役守護一益子三九郎八九兩人与賊力戰

見信長紀

前田利家

村井豊後守

初名又兵衛以秀
吉命任豊後守

伊世大河内城責ニ大功ヲ立利家乃又字

利家初名賜
又左衛門

又兵衛ト改

初名長
八郎

大坂戰ニ有功信長大ニ褒称江州

山金ケ森城責ニ先登メ頸ヲ得與佐久間玄蕃氏ニ有功

長篠戰ニ利家疵ヲ蒙ル村井乃其相手ヲ打取テ首ヲ

獲疵ヲ蒙利家感書ヲ与利家佐々成政ト鉾楯ノ時

度々力戰有功

奥村伊与守

初名助
右衛門

此者能州末森ニ在城

末森者加越
能之封域

佐々成政コレヲ攻

天正十
二年

奥村及千秋主殿助等力戰

堅守其内ニ利家後責城兵突出大ニ戰テ有功村井
奥村氏ニ前田家ノ老臣也

横山山城守長知利長ニ十四歳ヨリ仕ユ父半喜長隆初自
美濃赴越前而仕

前田末守城責以後度々戦功アリ岩石城責 八王寺城責 大
利長 聖寺城責 大坂役

元和元年任山城守其先出敏達天王小野氏

山崎長門守初名少兵衛
判髮号閑齋元朝倉家ノ長臣也父長門守

吉継刀祢山ノ戦ニ大軍ヲサヘテ快戦討死ス閑齋其

後越前ニ蟄居富田弥六一乱ノ砌ニ力戦ノ功アリ鉄炮
ヲ持

タル者ト仕合鉄炮凡ニ切倒其首ヲ得
此刀号鉄炮截来国光作今尚在彼家其後明智光秀ニツ

カヘテ五百石ヲ領ツイニ前田利家ニ属シ末森戦ニ力戦

有功難波役ニ加賀勢ノ先軍タリ六十四卒蒲生源左
衛門督至

加州与山崎談往事越前勝山事蒲生云其時我下知ニテ
其方十鎗アリシトイヘルニ山崎不及返答

富田越後守初名六
左衛門度々戦功アリ末森戦ニ野々村主水

正ヲ討捕凡此時主水ヲ討捕鎗ヲ合スル者三人利家

各感吞并領知ヲ与也利家未後責ニ出張無之前方ニカ
ケ付ル者三人ソノ時佐々カ兵既城中ニ

入コミ篁戸ヲ取り堅ノ外兵ヲ不入其所へ小堀ヲコシ富田一番ニ先登
太刀ニテ力戦ス野村傳兵衛ツ、イテハセ付鎗ニテ力戦山崎彦右衛門
アトヨリ来テ兩人ニ言ヲカケ脇ヲツムル也而ノ野々村戦死也山崎
ハ閑齋再従弟也後領一万石後乱氣殺其妻子自殺其子一人為山伏大
峯山入峯ノ時山伏ノ出入ニ大剛強ヲナシ其帰路ニ越前上野ニライテ荷
物ヲ盗ニトラレソノアトへ行乃盗人ノアトヲ慕盗人ヲ殺荷物ヲトリカニ
来ル利常称其勇還俗号山崎半左衛門

上坂又兵衛稻垣與右衛門兩人度々戦功足輕百人自タリ利長
家人

佐々成政

越中貴布祢城主

佐々平左衛門

八相退口戰功越中利波城主

前野小兵衛

元信長家人

野々村主水正

水

末森戰打死

寺嶋甚々同牛久

能州侍也末森戰ニ一方ノ將タリ

末森ノ引口ニ兩人ニ三千ノ兵ニテアトニノコリ引カ子

タル躰ニ三ヘケルユヘ利家ノ兵士ノ内ヨリ是ヲ付テ討

取り可然ト云者アリ利家キ、テ引カ子タルニテハ不

可有之利家カ兵ヲワサト付サセテ一戰ヲナスヘキタ

メノ事ナルヘシ定テ寺嶋兄弟カ兵ナルヘシト云リ果シ

寺嶋兄弟殿備ヲノコシテ金澤勢ヲ引カケタル也

或云此時

利家ニ付ラレ可然ト云シモノハ本多三弥ナルヘシ渡奉公人ハ必如此事ヲ云モノナリト利家イヘリ果シテ本多ナリ

兩人後

上杉景勝ニ属シ一万石ヲ領ス其子氏ハ加州前田家ニ仕

久世但馬守 武功勇將也末森城責ノ時前田方鳥越城

主目賀多又右衛門丹羽源十郎城ヲステ、逃亡成政

乃久施但馬守ヲ入カヘテコノ城ヲ守ラシム此城落去ノ

リ利家尤不快ニ付テ末森後責大利ニ付乃津幡ヨ

リ直ニ鳥越ヘ攻ヨセ玉ヘトモ久世カ戰メ城不落同年

十月又兵ヲ鳥越ニ出シテコレヲ攻トイヘトモ尚堅守ル

因此翌天正十三年二月利家越中ノ蓮沼ヘ中入シテ

所々ヲ放火木船ノ城主石黒左近及利波郡ノ敵コレ

ニ付テ力戰成政兵倉地猪助ト前田方上坂九左衛門

互ニ鎗ヲ宵板ニ突立カ戦ノ処ヲ細井弥左衛門ワキ

ヨリ倉地カ首ヲトル倉地安左衛門又名猪久此時モ鳥越

ラセメケレ氏不落其後青ノ城主菊池右衛門入道父子

成政ニ背テヒツカニ利家ノ兵ヲ引入是ニ因テ鳥越堅

固ニ難守ニ付テ久世コレヲアケノク也其後利家越中

オヤハ川キリニ切シタカヘテ今不動ニ要害ヲカ下へ前田

右近ヲ入置也成政没後久世越前黄門秀康卿ニ属

ス秀康卿常ニ云越前ヲ領セラルノ樂久世後忠直ノ命ニ

背テ屋敷ニ取コモリケル此時下人トモニ皆イトマラ

トラセケルニ足輕ヨリ上ノ者ハ皆居留久世元人ツカイア

シク家人皆背之

然レ氏節ヲ守不去也大手口ハ多賀谷左近裏門口吉田修理落

合主膳也屏ノ内ニ柵虎落ヲ結テ待ウケカ戦乃屋

ニ火ヲ放テ自殺ス火ニカ子テ近隣用意ユヘニ忽ニモ

三消事ユヘナシ久世領

福岡与四郎度々戦功アリ

戸肥左近石黒左近推名逸見与十郎

イツレモ越中地侍也成政没後佐々カ兵大分上杉景勝

ニ属ス戸肥ハ最上山形ニ仕ユ最上駿河守時子修理

大夫ニ一味シテ罪死ス石黒ハ成政越中ガラクコヘノ

時一人供奉鈴ヲ佩テ肩輿ノワキニ付往タルモノ也

逸見ハ鵲^{ヅドリ}取^{トリ}ミノヲ羽織ニイタシカマヲ差物ニメ度々ノ勇功ヲアラワス後前田利常コレヲキイテ此羽織ヲ金ノカミニテコレヲヘシメ物見ノ軍使十二人ヲ撰ヘリ有澤ト云モノハ戸肥カ家人也戸肥罪死ノ後山形ヨリ戸肥罪死少モ遺恨ニ不存ノヨシ誓紙セシメハツノマ、直參ノ奉公タラシムヘシトアリシニ有澤云ケルハ遺恨ニハ不存トイヘトモ誓紙ハナルマシキトアツテ所ヲ立退能州ニ至リ後利常ニ仕ユ成政山鹿城ニテカ戦ノ時有功ノ者

林作助 加藤又助 石野六内 後仕氏卿号 山田五郎三郎

久世又兵衛 鈴木彦市 後改孫 左衛門 以上六人戦功

櫻勘次 鉄炮上手末森 有此功戦死

堀秀政

堀七郎兵衛 武功ノ勇臣也山崎役秀政兵ヲ天王山ノ上ヘヲシ出ス七郎兵衛云山上ノ味方ノ備充危シ山上ノ兵ヤフレシニハ味方友崩タルヘシ兵ヲ別所ヨリス

スメハ横ヲ打ノ利アルヘシト諷諫ソノ言ノコトク山
上ノ兵立ラレタルヲ堀カ兵横ヨリカ、リ大利ヲ得又
賤嶽役ニ賤嶽ノ要害ヨリ加勢ヲ乞秀政兵ヲ分テ
賤嶽ニ出サントスセ即兵衛堅ク諫ケルハ勝家陣ヨ
リ切々玄番方へ軍使往来ス是ハ中入ノ兵ヲ早々引
トレトノヲナルヘシ然ハ玄番必中シキリヲ押破テ可
通其時引ロラ付テ一戦可然玄番不引ハ勝家方ヨ
リ戦ヲ始ムヘシ是又大合戦ノ圖ナレハ兵ヲ不可分ト
諷諫スシカルニ兩將氏ニ此戦アラサルユヘ七郎兵衛考
テ柴田滅亡無疑トイヘリ

黒滝

堀監物

塩沢

同丹後守

兄雅樂助後任監物

下倉

小倉主膳

初尾

神子田八右衛門

栢崎

柴田源左衛門

長岡

堀美作守

長瀬小三次
長久手復興
烏井合鎗云

此外溝口村上モ堀与カタリ秀政越前ヲ領メ卒去
子久太郎秀治越後ヲ領ス此時此者氏同城主タリ堀
監物直政考ヘラ以テフスマ野ト云地ニ城ヲ取立テ春
日山ノ城ヲコレヘ移シコ、ヲ居城ニカマヘント欲ス栢
崎ノ僧出羽ノ湯殿へ参詣ノ時此野ヲトラルトテ山
伏兩人ニ行逢テ道ツレイタシ此山伏何角ト物語ノ次
ニ監物此野ヲ城ニ用意ノ企アリ必不入ト也コノ地ヲ

城トナサンニハ五年ノ内ニ監物子孫断絶スヘシコトニ堀
ノ家滅亡ノ瑞ナリトカタリテ此事ヲ監物ニカタルヘ
シト傳語シテ別ル此僧後ニ監物ニ此事ヲ告ケレハ
監物シハラク思案メ弥城地ニ可取立コレハ山伏ヲコ
シラヘテワサト如此イワセタルモノ也トテヤカテ鋤初
ヲナス而メ無程監物死ス或云三年
目卒去監物臨終遺命
シケルハ我死ト云凡雅樂助丹後守兩人ヲサシライテ
家老ヲツトムル者不可有之シカレハ兄弟ノ心入肝要
也第一主人年若シ必人ニ知行ヲ与ヘラレヨト不可告
人ノ訥詔不可取持充自分ノ加増并訥詔等ノ一今

年ヨリ五年マテハ不可致其上兄弟ノ間カラヲ踈意
ナキコトク可守ト云一數ヶ条ヲ記シ兩子連署ノ
誓紙ヲセシメ一通ハヤイテ兩子ニノマセ一通ハ血脉袋ニ
入テ棺ニラサム若弓矢事出来テ當家無為ナランニハ
葬場ニ雨ヲ可降當家弓矢事不宜ハ必ス晴天タルヘシト
云ライテ死ス果メ葬場大雨人以為怪而メ五十日モタ、
サルニ兄弟不和出来監物卒去三年ノ後兄監物訟ニマ
ケテ放逐乃主人越後守忠俊領国没収慶長十
三年
世傳監物主人久太郎秀治ヲ欺テ石田三成ニ隨順ノ
昏ヲナサシメ是ヲ上方ヘツカワサシメ路次ニ人ヲ出メ

奪取テコレヲ監物カ元ヨリ源君へ献ス関原役ノ後源
君監物カ忠ヲ感セラレ越後國ヲ監物ニ賜テ秀治ヲ
放逐セラレントノ事アリ監物大ニ悲歎シ不肯之主
君秀治無為ノ事ヲ乞テツイニ秀治安堵云々

長谷川秀一

嶋弥左衛門 元梁田出羽守家人八相ノ退口ニ出羽守
カ手ニオイテ太田孫左衛門ト云モノト合討ニ敵ヲ討
功アリ後東卿侍従秀一ニツカヘテ十分一ノ禄ヲ領ス其
比木村常陸公内木村宗左衛門六千石秀一内嶋八千石
十萬石ヨリ内ノ主人ニテ十分一ノ禄ヲ領嶋八相引口一
度ノ戦功ナリ

人品美質世稱之

荒木村重

池田久左衛門 村重有岡三年ノ籠城ニ指引ノ奉行
ヲナスニ毛頭手ノツカヘ事ノタラサル一十キハ池田カ奉
行ユヘナリトイヘリ以前ヨリ四方ノ籠城ニ如此何事モ
トノホリタル一ハナカリシト其比ノ評也但此者モ後
ノ首尾不冝ノ妻子磔罪

明智光秀

齋藤内藏助 元美濃人稻葉伊与守通胤入道一鉄家臣
溝尾庄兵衛 明智治右衛門 同左馬助初号三宅弥平次坂本自殺廿六歳
以上四人
家老

松田太郎左衛門

進士作左衛門

山崎役光秀馬蒙疵進士下立奉巳馬比田帶

力取口

津田與三郎

改遠江守

伊世與三郎

提子数丞助

後改立即兵衛

光秀滅後京極高次ニツカヘテ関原

役大津城責ニ戦功アリ

可成弥三丞

出三好家條

蒲生氏卿

蒲生四郎兵衛

四万五千石後仕石田三成

同忠右衛門

二本松城主尾州人初滝川家人子忠右衛門猪稻代城主為蒲生源左衛門

共為氏卿先手一源左衛門ト是ニ蒲生ノ家ヲノキ仕本多中書

同主計

内記父南山城主氏卿家第一武功

外池孫左衛門

後改信濃守益松城主度々戦功

蒲生源左衛門

元柴田家臣白石城主氏卿先手事見柴田家人條与岡半兵衛訃命後出奔

寺村半左衛門

元名栗生美濃度々戦功

九州豊前岩石城責ニ蒲生小番源左衛門也力戦先登ノ

一ヲ秀吉称美アツテ腰刀ヲ賜ル此時小番云ケルハ

一番乗ハ栗生美濃ニテ候ヘトモ黒吹貫ニテ御目ニ

不立某差物白吹貫ユヘ御目ニ立タルト相三候但先

登ノ儀ニテ無之一分ノ働ヲ御感トアル儀ナラシニハ

乃拜領可仕ト云ケレハ申上ル処至極仕リタリトテ乃

腰刀ハ栗生ニ賜テ小番ニ別ノ賞禄アリ

柴田 佐久間備前 同大膳 滝川 谷崎忠右衛門 同 南部越後 諫 上田越中 北条 松田金七 同 金子十次 信長 道化与兵衛 信 真田隠岐 源 本多三弥 同 水野三左衛門 政宗 須田伯耆 同 牛越内善

北川平左衛門 津川城主

綿利八右衛門 常在伏見大坂達文筆尤有戰功八千石蒲生四郎兵衛害之

梅原弥左衛門 初名武左衛門氏卿ノ取立モノ度々戰功

関庄藏 初名十兵衛関長門守弟元柴田家人度々戰功

結解十郎兵衛 三千石度々有功四支身中蒙疵

八角内膳 元氏卿童坊以度々武功立身氏卿女有余度ノ戰功八角常隨勤之有功忠卿時領五千石

岡半兵衛 伊世小倭ニ戰功後為老臣

布施二郎右衛門 布施藤九郎一族

外池甚五左衛門 度々戰功与信濃非同族

蒲生將監 五郎兵衛父五郎兵衛者中務少輔モリ也 同左門 五郎兵衛兄

新國上総公 永沼城主 曾根下野 武田信玄家臣初名内匠

町野左近幸仍 三善姓町野玄番九康後後胤 長門守幸和父蒲生家老臣信長秀吉共称其雄才幸仍嘗為伊南奉行人皆称其才云々幸和又勇功度々初名玄番九

志賀與三右衛門 元布施藤九郎家人有戰功九戶役敵斬彼首過半志賀不死終本復後領五千石

佃又右衛門 千石後仕福嶋正則

細川藤孝

長岡佐渡守 初名松井 式部太輔 有吉四郎右衛門

長岡監物 初名米田 与七郎 同勘解由 初名沼田 小兵衛

加賀山隼人 初名庄右衛門 西郡大炊

牧新五郎 後左馬允 中嶋左近

中瀬新兵衛

加賀山以下ノ者皆他家ニテ度々戦功アリ関原
岐阜城責有功

有吉與太郎

後長岡内膳 此者岐阜ニテ勇戦有功

山本又三

二重堀戦打捕信雄
家人大槻助右衛門

西川与助

上同時鎗
下高名

大石清藏

菌部與市 日下部与助

以上六人二重堀戦功但沢村才八加之
山本西川秀吉ヨリ感書ヲ賜

澤村才八

指物朱ノ日笠ニ三尺計ノ絹ニ天道字ヲ各ニ重堀ニテ初
大槻ヲ鎗付テ頭ヲ山本ニトラセ大原文藏赤母衣ニ黒吹

貫ニツ出ニイタシ一番ニ進出才八コレト鎗ヲ合ス小牧ヨリ源君
并ニ信雄遠寛加賀井城責討捕平井駿河守秀吉感悅関原役
岐阜関原ニテ戦功

長岡内匠 清田石見

初名
七助

藪三左衛門

藪内
匠子

此三人大坂夏

役戦功

池田信輝

片桐半右衛門尉

伊木豊後守

初名清兵衛

森寺清兵衛

花鼻一戦ニ伊木森寺金剛寺山ノ要害ニ在城
テツイニ花鼻城ヲトツトルナリ

秋田加兵衛尉

右時
五輪作右衛門ト鎗ヲ合ス

牧野新九郎

花鼻ノ時戦功アリ長久手ニテ庄入打死ノ時不供
一ヲ耻テ家ヲ退テ後伊井直政ニ仕

竹村喜左衛門尉

乾平右衛門尉

長谷川新二郎

此
三

人花隈ノ時鎗脇弓

梶浦平七

河崎忠三郎

太陽寺左平次

臼田喜平次

日置清十郎

以上花隈ニテ戦功アリ

竹村伊豆

関ヶ原ノ時
武功

荒尾但馬

関ヶ原時海東筋ノ人質
ヲ吉田ニ入置コレヲ守護

柳田半人 池田左衛門督忠繼大坂役神崎渡川越ニ一番ニ
船ヲトリ組ノ足輕ヲコサシム此時林矢兵衛舟ヲト
ルトツノマ、乗テ半人ト尺ニ一番ニ川越

林矢兵衛 横川次太夫 池田宮内少輔忠雄家人
大坂役ニ平子主膳ヲ打取

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page)

氏家ト全

飯沼勘平 全与力也度々戦功アリ長嶋役戦死子勘平関
原役ニ池田倫中守ト力戦打死

弓削修理亮 全扈性ト全長嶋戦死ヲキイテ立歸力戦十
余人ヲ討取自殺十八歳

西尾小六 全与力 宮川但馬 上同

山田主水 全与力也度々
山田八古藩門 平野平兵衛

山田小平太 全与力也度々
山田新平士 全与力也度々

山田忠共 全与力也度々
山田三郎 全与力也度々

山田新内 全与力也度々
山田八合 全与力也度々

山田百太郎 全与力也度々
山田八合 全与力也度々

森可成家

尾藤源内

坂本合戰戰死
弟又八亦死此

野呂孫次郎

長一時於八幡林
戰死

秋田忠兵衛

梶浦平七郎

片桐与三郎

竹村小平太

以上長久手役於池田陣戰死

仙田主米

長久手役与
鳥井金次郎鎗

山田八右衛門

元別所家人長久
手役与平松鎗

西尾小六

宮川野島

丸末十全

丸末十全 西尾小六 宮川野島 仙田主米 竹村小平太 秋田忠兵衛 梶浦平七郎 片桐与三郎 野呂孫次郎 尾藤源内 山田八右衛門 長久手役与 鳥井金次郎鎗 元別所家人長久手役与平松鎗

森可成家

尾藤源内 叔本合戦戦死 野呂孫次郎 長一將於八幡林

秋田忠共衛 徳清軍七郎 片桐与三郎

竹村小坪太 以小長久守戰於北田津戦死

仙田主水 長六平腹子 山田八右衛門 先別府家人長久

関白秀次

水野勘解由 同親命子 長久寺戦 義徳討つて一ツ地ニサレコト

山田平一 長久寺戦 義徳討つて一ツ地ニサレコト

前野共盛 長久寺戦 義徳討つて一ツ地ニサレコト

中山善助 長久寺戦 義徳討つて一ツ地ニサレコト

水野孫作 此亦秀次へも出立に知行ノ打紙拜領ノ時已

世心ニ不令トノ請願タノ前キテ引セワリ捨テ凡ニ付テ侍

ノミセシメノタメニ成敗ヲ止レトノ事也情草尼コノトヲ

言テ退去ラスノケレバ我ヲウツモノハ不思寄トキ平生

不替出仕ノ將打手四人一ツヲイハツララシメトモ不

関白秀次

木下勘解由同周防守

長久手戦ニ差物ヲマイテ地ニサレコシ
戦死是ハ秀吉ヨリ附玉フ者也

山田平一郎

後改出羽守
長久手戦ニフリヨシ

吉田修理

元名清六長久手ニテ高
名差物ヲマイテ不失

前野兵庫

後仕石
田三成

中山角助

後仕増
田長盛

水野孫作

此者秀次へ召出サレ知行ノ折紙拜領ノ時已

カ心ニ不合トテ諸歴々ノ前ニテ引ヤフリ捨タルニ付テ侍

今ノミセシメノタメニ成敗アルヘシトノ事也傍輩凡コノヲ

告テ退去ラスメケレ凡我ヲウツモノハ不思寄トテ平生

ニ不替出仕ノ時打手四人マライ、ツケラレタレトモ不

取合ヲ塩川喜左衛門クミトメテ高野越中ワキヨリ突殺
ナリ

今井角右衛門生瀬半右衛門此兩人ハ姉川ノ戦ニ坂井久
藏ヲ討タル戦功ニ因テ秀次ニツカユ秀次一人ノ首ヲ二人
木トルモノハ不可有一人ハ虚説タルヘシ奉行氏ニ穿鑿可
中仕トアルヲニテ今井スラニ虚説ノ事ニナリ刀脇指ヲヲ
前サヘ鷹部屋へ押込ラル其後證人浅見藤右衛門ヲ安
山土ヨリヨヒヨセ聚樂ノ大廣間ニテ荏部淡路守ヲ以テ
木コレヲ尋ラル浅見コタヘケルハ生瀬旧知音也今井ハ三
閑白十年未不通ノ者ナレハ如此御尋ニアイ長生ノメイワク

トハ此事ナリトシイテ固辞スレ氏不叶メ今井久藏カ頸ヲ
トリタルト云フ必定ニキワマル也生瀬罪死ニ可及トイヘ氏
秀次コレヲ惜テ不及其儀也後病死今井乃召カハサル也

岡本加助

長久手戦ニフリヨシ後大坂役ニ松倉豊後守カ倫ヲカ
ケレハ先ニ奥田三郎右衛門有之姪子細ユヘニ兩人引カヘセハアトニ倫
ヲ立カタメタルアリ是乃松倉也自余ハ多ク敗ス夏ハ松平下総守
倫ヲカリ岡本ト奥田ト兩人有之乃六日ニ先手松倉カ手へ出テ兩人
氏ニ戦死ス岡本カ子テ云ケルハ必後藤ヲ可打捕トイヘリ後藤打死ノ場
六七間手前ニテ死

大坂... 長久手... 生瀬... 岡本... 奥田... 松倉... 後藤... 打捕... 死

大納言秀長

尾藤下野守

石田三成妻之父関原役父子戦死于佐和山城

杉別越後

青木勘七

後任紀伊守

藤堂与右衛門

後任佐渡守

安田作兵衛

後改天野源右衛門

大庭三左衛門

後改土佐

安田初仕明智本能寺逆乱時信長へマニヘタル功アリ

其後仕秀長賤嶽七本鎗ノ前ニ鎗アリ廿余日大庭

奥田勘兵衛モ在此場也安田後仕寺沢志广守領八千

石額ノ差物

安田ハ丹波少將ヨリ傾城ノ太夫ヲ盗テカケヲ千其外作法ニ不届ノ事多シコノユヘニ秀長ヘカヘラル、時如此

ノ悪名所々ヨリイ、立ケレ用ノ軍事ヲマカセラレ

寺沢カ所ニテモ草履取ヲ手打ニイタシソコナイ人ノ批

判ニアヘリシカレ度々軍事ヲツトメ戦功人以称之秀吉九州

征伐時立花宗茂ニ仕ユ山鹿兵糧入ニ功アリ

安田嘗云小市郎秀長ノ歌ニ天下ヲハ鎗ノ先ニテヲ升

ムレハ秀吉ノケテハヲケテヤク、古ヨリ人丸赤人貫之十

ト云歌仙ヲ、クノ歌ヲヨメリトイヘ用ヲケテヤトマリノ歌ハ

是計ナリトテ笑ヘリトツ

浅井周防守

秀長ニテ六百石後増田所ニテ三千石ヲ領ス増田所へ可出マヘカタニ心友アツマリ立身ノモノカタリニ浅

井ハ本知ノ上ニ少シ立身ナルヘシトイツレモ評シケルユヘ浅井氣ヲアルクシテサテハ不入一ニ山林ニ蟄居スルニ不如ト思ヘルソノ六日目ニ

增田三千石ヲ与フ

櫻井左吉 奥田勘兵衛 兩人賤嶽戰功

加藤清政

飯田角兵衛 森本儀太夫 朝鮮晋州城責ニ勇戰ノ功アリ秀吉乃角字改覚儀字改義賞其功

庄林隼人 度々ノ勇功中ニ毛蔚山ノ存候人皆称之

并河志广守 一ノ備 武者奉行 飯田庄林

吉村播左衛門 二ノ備 武者奉行 森本儀太夫

和田倫中守 三ノ備 武者奉行 貴田孫兵衛

酒川忠兵衛 三宅角左衛門 酒井善左衛門 打捕

甲斐九左衛門 此四人度々有功ノ者也

旗奉行 原田無右衛門 赤星太郎兵衛 忠廣時山田太郎右衛門岡伊兵衛

母衣十二人 軍使十二人

齋藤佐渡守 武藤道半 久武内藏助 松浦筑後守

梶原源太兵衛 井上大九郎 小九郎 神田對馬 橋本掃部

天野民部 右清政時他家有功ノ歴々齋藤ハ内藏

助子也度々ノ戦功中ニモ朝鮮ヲシカイニ勤入テ大功ヲ立

立花三左衛門小野和泉 由布全右衛門 此者凡ハ関原

後立花立齋家人不殘清政扶助ノ時来属

城持九人 加藤右馬允八代城 六万石 中村將監水又 城 加藤太和守佐 敷

長尾豊前守野边城 加藤越後守内, 牧, 城 同丹後守南 関

田寺久太夫宇土留守居立花立 齋兵二百騎与之 野尻半平河尻 城

加藤平右衛門鶴崎城来嶋衆五十人 船頭五十人 水手五百人

小西行长

小西弥兵衛 伊知地又太夫天草志岐一戦ニ伊知地戦死此時 兩人為大將渡海

山路勘左衛門久丞弟志岐 一戦力戦 伊川藏人

天草退治時ハ水野六左衛門日向 守 阿波鳴戸助七行

長ニ属シ力戦ノ功アリ

杉本次郎助 南條玄珠

兩人ハ関原役ニ宇土城ニ留守清政十一月八日宇土城責

ノ時杉本夜中ニ忍出テ仕寄ノ竹把ヲ焼立力戦ス

南條ハ三宅喜藏後改角 左衛門 十力戦後清政ニ仕

黒田孝高

井上九郎右衛門

後改周防守

関原役ニ石垣原戦ニ吉弘加兵

衛ト鎗ヲ合ツイニコレヲ鎗付吉弘家人引カケ退急十

ル場ニテ半途ニライテ是ヲ捨小栗次右衛門其頭ヲ

アケ来テ吉弘ヲ打ノ由云トイヘ凡井上最初ニヤリ付

タルユヘニ吉弘ハ井上カ打タルニナレル也

毛利多兵衛 栗山備後守

度々ノ戦功ヲ以テ黒田家ノ先手ノ大將タリ

曾我部五右衛門

朝鮮金海ノ一番乗也石垣原戦ニ宗像掃部ト差遠戦死

九野次左衛門

石垣原戦与曾我部一所ニ一手ノ將トシテ戦死

堀平右衛門

朝鮮金海ニテ旗本ノ一番乗堀ト後藤半内ト也晋州一番乗加藤清政内森本黒田内堀也関ヶ原神

戸川越ニ長政ニ相隨長政馬沈テ不見堀コレヲ引立己カ馬ニセカヘ川ヲ越テカ戦ノ頭ヲ得関原ニテ佐藤將監トワタシ合ノ処

伊丹九郎左衛門佐藤ト知人ユヘコトワリテノカレシム

黒田美作守

小名玉丸

長政ニ従テ城井一揆ノ時大功ヲ立ツ

其後朝鮮征伐及関原役ニ度々ノ戦功アリ

野村市右衛門

十六歳朝鮮役ニ戦功石垣原戦ニ苗ノシ十イ差物ニテ横鎗ノ下知ヲ以テ大利于時十九歳

後藤又兵衛

朝鮮ニテ度々有戦功関原役ニ長政ニ従テ軍事ヲツトム敵南宮山ニ陳ヲ張ル赤坂ニ陳スル処ノ味方コレ

見テ敵ハ誰ナラント評シケレハ後藤キイテ毛利家ナリト云後藤カ云ヘルナレハ諸將モ肯之長政其ユヘンヲ問後藤云朝鮮在陣中毛利家ノ陳取ヲミルニイツモ山取ノイタシヤ山上ヘラシアケテ

フモトニ陳ヲ不取南宮ノ陳ノ体モ亦然リト云ヘリ果ノ毛利家也

大村六大夫

井上周防守家人

石垣原戦ニ大友勇士吉良傳右

衛門ヲ打取

淺野幸長

淺野右近

同日向

初名熊谷次郎左衛門度々有武功

同兵部

同壹岐

石井三之丞

石本土左

大橋一郎左衛門

右忍岩付城責戰功

淺野孫左衛門

龜田大隅

岡野弥右衛門

森嶋新五

太馱源左衛門

永岡茂外

伴彦左衛門

加用与六

岡田宇右衛門

片岡源太夫

以上於朝鮮戰功此外関ヶ原大坂役戰功甚多

前田越前

関ヶ原役

熊澤兵庫

大坂役擊殺一揆魁梟猿皮

上田宗古

掇井戰功元丹羽長秀家人後秀吉公直參関原役後為幸長家人

龜田大隅高綱

元名溝口半丞柴田伊賀守家人十六歲時越前一揆退治二馬上鎗賊獲首勝家及伊賀守連

署感狀越前九岡城一揆急攻之龜田力戰伊賀守感書賤嶽
役余湖ノキワニテ高名其後改龜田權兵衛仕淺野長政山中忍
岩付ニテ戰功朝鮮役蔚山ノ敵十八騎相戰立功幸長以書感
之関原役瑞竜寺一番兼押井有戰功父溝口半左衛門屬勝家
自殺北庄

木村頼母 幸長蔚山籠城時加藤清政在機張幸長欲告急賊
相困數重無所出城木村密出告事於清政々々忽
援焉後於関原有戰功

丹羽德入 俗名山城初仕池田輝政 元織田常真家人

曾根内匠 武田家人後仕 中川清秀家人後仕

遠山丹波 北条家人 秀長家人

松井又右衛門 高山右近家人度々有戰功長政傳ツタフ松井於幸
長令肆軍事小田原役長政攻武州忍城幸長
十四歲松井密告戰攻之術幸長大登武名

永原越後 蒲生氏卿家人 日根野倫中家人

狩野主膳 北条家人 中川清秀家人

箕浦大内藏 始仕秀長 始仕蒲生氏卿

竹腰権右衛門 日根野家人 元氏江上全後仕秀
次

丹羽道雲 俗名五平次仕 石田三成 俗名庄外若江七人衆

永原十方院 元仕明智三成後仕 俗名植村三郎四郎仕佐久間玄
堀秀政及丹羽長重 番与拜江五郎左衛門共勤先手

目方良務 始仕佐久間 若江七人衆

仙石因幡 仕黒田長政金吾秀秋 日根野家人

平尾刑部 元名高野越中 一益家人

藤卷刑部 武田家人後仕 元遊佐義作家人後仕
仕北条氏直 糟谷内善正

狩野初名刑部一菴子也
一菴舉氏照之侍女刑部者氏照子也
号主膳雖為陪臣於北条家為独礼後
奔幸長家於途中追手來
陷旅宿之昏刑卒

根来コニツキヤ 本名奥野 大内藏

松本刑部

木本庄司右衛門

長田正政所 シヤウシノトコロ

佐竹伊賀

中村善等

湊喜右衛門

村柳源助

以上八人紀伊地侍

右幸長常ニ勇名武畧ノ士ヲ愛シ他家ニアリトイヘ
其名氏ヲシルシ置テ其親戚ニタヨリ音問ヲ通シツイ
ニハ幸長カ家ニ招請セン事ヲ欲ス此故ニ諸家武功ノ者
其家ニ相アツマレリ即今其名氏ヲ家ニノコセル輩九五
十三人今举世所知而已

辻肥前 田中筑後守 家人

三好助兵衛

黒田長政家人

堀場越後 京極丹後守家人 大坂有戦功

服部石齋

俗名入江石見元秀吉家 後仕高山及池田輝政

伴三左衛門

初仕石川玄番頭後仕富田信濃守関原役有功第十郎 兵衛亦有此時功仕長晟

小瀬四郎右衛門

始仕古田兵部少輔関原役有功 後仕寺沢志广守

石川左近

元御家人隱道 号丈山

天野半之助

元御家人後在松倉 豊後守処

上條又八

始仕織田信雄福嶋 正則本多美濃守

右長晟招之為家人凡世相知者二十六人

浅野左衛門佐家人永田治兵衛八木新左衛門

打取石 塙氏

黒作太夫松宮庄久大坂榎井戦功

浅野右近家人戸田六左衛門大坂役新宮城留守居ライ

夕レ一揆蜂起ノ節力戦々功充大十リ

戸田後剗 髪号道可

蜂須賀家政

中村右近 稲田修理 同九郎兵衛 岩田七右衛門

是ト大坂冬役ニ城兵夜討ノ時戦功右近戦死ス各御感
大畚ヲ賜

森甚五兵衛 同甚太夫 山田織部 樋口内藏助

同年千波穢多城伯樂城ヲノツトルノ戦功アリ御感書
ヲ賜^七家政子至鎮 阿波寺父阿波寺判髮号蓬菴 大坂役ヲツトム右七

人戦功アリ

森八元阿波椿泊任人累代彼地ニ居テ海賊ノ事ヲ司
トリ三好ニ属ス長曾我部阿波ヲ押領ストイヘ氏コレニ

不從也蜂須賀家政阿波ヲ領スルニ及テコレニ屬シ
海賊ノ一ヲ司関船ノ奉行タリ

福嶋正則

福嶋丹波守 尾関石見守

長尾隼人 元名山路久之丞勢州神戸家老山路紀伊守嫡子也
因父命久至為小嶋家之家老為高岡城主後仕正則

領藝州東條一万三千石

大崎玄番 元木村常陸从家臣仕正則領備後三原城

可児才藏 濃州可児山住人齋藤家臣也可児郡俗説以鱒字
可児大寺或曰神野大寺故才藏氏亦称神野云

地理志 所載可児郡可児山皆用可児字

才藏諸家ニ奉公度々戦功アリ生竹ノ指物ヲ用テ已

カ所得ノ頸ハ切口へ笹ノ葉ヲ入置テ所々ニ捨置尚先
へ出テ勤ク後ソノ首ヲ人ウルトキハコレヲ以テ證トス

故ニ俗ニ笹ノ才藏ト号ス柴田勝家明智光秀 本能寺逆

秩ノ時光秀家人寺内ヌタイ板ノ上ニテ首ヲトルニ首トリニク
三へケルヲ才藏コナタヨリ下知メ手本ヲサケヨトラシヘタリト也

ニツカユ其後三七信孝ニツカヘテ岐阜ニライテ戦功信

孝没メ関白秀次ニ仕ユ長久手ノ戦ニ秀次敗軍ノ時

岡本加久山田平市郎村善右衛門十ト六人ヲリ敷テ

敵ト追合所へ秀次金剛太夫一人供イタシ出来テ直

ニ逃亡ノアトへ才藏来ル六人ノモノ山ニヨリカル思ラ

ナスノ処才藏イカ、思ケン秀次ノアトヲシタイテ往

六人ノ者才藏ハキ、レニ遠テ臆セルヤ敵ヲステ、逃
レタリト云ヘリ其後聚樂ニテ各長久手ノ物語ノ次
ニ此事ヲ六人ノ者才藏ニタツ子ケレハ才藏キイテ
打驚イカニモ各ノ評ヲキケハ其通也我ハ何トモ心不
付ケル也評ヲセハイ、ワケハ毎之一ナリサラハ各ヘイ
トマコイナリトテ其座ヨリ宿所ヘモカヘラス立退也而
メ前田利家ニツカヘ其後正則ニ仕ヘテ関原役ニ戦功
アリ井伊直政下野守忠吉ヲトモナイ正則カ備ノ前
ヘ出ツ才藏持鎗ヲヨコタヘ正則既ニ先陣ヲ兼ルノ
間一人モ此陣ヨリ先ヘハ他家ノ兵士ヲ不可出ト怒テ

トヲサス直政陳謝シ台命ヲ含テ先手ヘモノニ出
ルノ由ヲ称ノ忠吉ト二人先ヘ出ツ才藏カタク下知
シテ家人ヲ不通トゾ迦世匹夫ノ勇士世以カレヲ称

梶田新助 後改出 雲寺 武市内藏助 堀久兵衛 本多將監 各組頭

福嶋式部 武藤修理 仙石但馬 喜多次郎左衛門

林龜之丞 各関原役ニ戦功

吉村又右衛門 大嶋茂右衛門 兩人関原戦功

ニ備ラルヘシト不肯因此駿馬レシセラ院ヲ与ユ後増田長

盛ニツカヘ関原落去ノ時郡山城ヲ守リ城ウケトリノ

大名藤堂筒井ヲ引ウケテ作法無残所因此藤堂高

虎コレヲカユ大坂夏役ニ長曾我部ト力戦有功

藪内匠 山中ニライテ渡边ニサレツ、キ力戦有功成合

平左衛門堀兵右衛門高屋助八郎吉田文左衛門イツ

レモ山中ニテ戦功

野一色頼母 関原ノ時中村彦左衛門陳代トノ出勢

九月十四日杵瀬川ノ迫合ニ藪内匠野一色赤井久左

衛門高屋久八郎矢野和泉後大坂籠城成合平左衛門

野一色元浅
井家人初名
助七浅井攻
横山之時与
苗木左久力
戦得首後於
関原杵瀬戦死

坂井兵右衛門吉田武左衛門長野六郎二郎竹田五

郎兵衛等力戦野一色竹田等戦死野一色父戦死子頼母戦死大坂九父祖

孫三代戦死

湫新五郎後改兵右衛門野一色頼母志村加兵衛小倉忠右衛

門大藪新八早川八十郎六人八一氏卒去ノ後一忠力

時召出サレテ御家人ノ列タリ

堀尾吉晴

堀尾但馬守 揖斐伊豆守

蒲生紀伊守 関原役ニ長谷川甚次郎ト云モノ下知ノ

岐阜川越ノ前ニ兵士川越ノ用意ライタサセテ下知

ヲマタシム其所へ先手ヨリ軍使来川越ノ事ヲ告蒲
生乃下知シテ一同ニ川ヲコサシム後マテ蒲生カ
人々称美ノ甚次郎カ事ヲハ不謂ニ付甚次郎云ケルハ
イツレモノ評判ワケモナキ也岐阜ノ川コレヲハ誰カ
コサセタルト思フソ前方糧ヲツカイ馬ノ腹帯ヲシメ
身指ヲイタサセ置タルユへ先手ノ軍使来ルトソノマ、
川越ハナリタレト云ヘリトソ甚次郎後
改大炊
堤五郎兵衛 澤四郎左衛門 畑民部 野々口彦助後改
丹波
右イツレモ関原岐阜川越ノ戦功沢畑川コレノ先
登戦死

宮部善浄坊

田中久兵衛後任筑
後守

友田左近右衛門

友田ハ宮部カ道具持ヨリ立身度々戦功アリユヘニ
コレニ名字ヲ与ヘ群士ノ列タラシメント欲ス宮部カ
家老氏ニ氏ヲ与ヘヨトアレ氏友田元シヤウモシノ筋
ユヘニ老臣氏不肯宮部シイテ命シ国友田中兩人ノ
氏ヲ以テ友田ト称スル也宮部江州ニテ富永新兵衛
ト鎗ノ時友田鎗脇ノ弓ヲツトム富永後ニ云ケルハ宮
部ヲ仕留ハ乃友田カ一矢ニテ射殺サン一ヲ思テ勤
不自由トイヘリトソ或云富永ハ弓宮部鎗也富永一
作富田江州キクマイコウノ内才ア

勇者也又云左近父亦勇者也度々勇戦アリ宮部急ノ働
ニ友田疵ヲ蒙テ死生不知父キイテ宮部陳ニカケツクルニ
道ニテ友田ヲヨビイカス声ノキコヘケルニソレヲハ差置テ宮部ヲ救
タリト云ヘリ

友田度々ノ戦功ノ内ニモ善浄坊秀吉へ降参ノ時世
浄坊カ人質小谷ニアリシヲ引トルタメニ友田ヲツカス
友田只マイリテハ妻子方同心マイルマシ如何ト問宮
部乃カ子ヲ定ル処ノ相言ヲコレニ告友田カ父ソノ妻
子ニツイテ小谷ニ在リシニ往還ノ間コレヲ父ニ不告
シテ宮部妻子ニ合詞ヲ以テ示シ乃引取也或云善
浄坊妻
田子在宮部而メ父アトヨリキ、付テノカル、也如此忠義ノツ
宮部トメ充多シ後関白秀次へ宮部カ家人友田ヲ可付ノ

旨秀吉命セラルトイヘ尼友田ヲハナシテハ先手ヲツトメ
カタシトテ不肯田中ヲ付也宮部家没落メ友田ハ藤堂
高虎ニ仕剃髮号慶林

木村常陸公

大崎玄番 元宇右衛門ト云度々勇功アリ関白秀次コ
ノ者ヲ木村ニモライ玉テ百石ヲ十倍ツノ立身ニイ
木タシ八千石元八
百石ヲ可与トアリケレトモ木村不肯之大
崎朝鮮征伐ニ高廉ノ大坂ニテ坂ノ上ニ唐人大勢ヒ
カヘタルヲ見一騎ノリアクル坂ノ所々ニ下人ヲ置テ
下ヘアカル者アラハ引ヲトセト云付ヲク山上ニ唐人ア

リ合力戦ス其ハタラキ下ヨリミテ倫ヲ離レタリトソ
而メ唐人ヲ打捕其身モ疵ヲ蒙也後仕福嶋正則藝
州三原ニ居城後仕紀伊悪相公

木村宗左衛門

後大垣城ニテ為
秋月高橋自殺

同傳藏

十六七歳時朝鮮陳
中ニテ下人ヒマヲモラ

イ其夜シノヒ入テ傳藏カ刀ヲ盜傳藏コレニ害セラル或云大垣
城ニテ父宗左衛門自殺ノ時共自殺云々宗左衛門未子号永原
土佐事前田家在賀州

木頭取源八

本氏鳥居能取歃首故俗号頭取源八

小山田山中ノ城責ニ源八城へ一番ニ付テ名謁磯野
平三郎云ケルハ其方ハ既ニ頭取源八ト人ニヨハル、トイ
ヘ片田舎侍ニテマコトノコヲ不知也如此處ニテハ十ノラ

サルモノ也人々忙然トシテ前後不分明然ルヲ其方
十トカ名謁ニ驚キ氣ヲ付テカセクエヘ思ノマ、ナル
勳不叶モノ也ト云ヘリ源八キイテアサ笑磯野ハ日比
心カケノ勇士トキイテ左モ可有ト思フノ処キ、シニ夕
カフテマコトノ勇士ノ本意ヲ不知也如此處ニテハ人々
忙然タルヲワサト氣ヲ付大勢ヲ用ニ立コトク致シテ
主恩ヲ報スルコトクイタスモノ也我獨功名十ト、云ハ
勇士ノ本意ニ非ト云ヘリ

岡田藤十郎 十六歳ニテ武州八王寺城責ニ鳥居源八
ハ歃ノ頭ヲトツテ一番ノ功名タリソノ処へ岡田来テ

源八ハヤ手ニアヘリヤ扱ハ面白カラサルト云モテ城
ノ方へ行朱具足ニ赤裳束ノ敵ト突合コレヲツキ倒
ノ敵頭ヲトラントシケルカ其終サシオキ先へ行又敵ヲ
伐テ首ヲ獲初ノ首ハ法師武者也十八歳ノ時朝鮮
ニ至リ木村カ軍法ヲ背テ先へ出働ニ付木村大ニ怒
重テ如此ニライテハ具足ヲハキ陳ヲハラフヘシトノイ也
此事ヲキイテ書置ライタシヨイニ朋友トモヲ呼終
夜ハナシ白羽織ニ角ニテ大紋ヲ出シツレヲ著シ翌
日戦死ス折節長谷川藤五郎ナト大付候ニ出テ先ニ
松ノ木ノアル所ニ白羽織ノ者ミユルユヘ敵カ味方カト

疑内ニ一文字ニ進テ戦死右ノ松木ノ処マテハ人々行
ノ不叶処也木村モ後コレヲ惜也岡田討死ノ意
趣ハ人ノ國ニイタリ陳ヲハラワレテハ何方ニテ戦場ヲ
ツトムヘキヤウアラサルユヘニ打死トノイ也此者十六歳
ヨリ雄才人ニスクレタリト也

関田多郎八

元仕明智光秀後号半右
衛門仕前田家領六千石

山中ノ城責ニ諸

將芝居ニ座ノ群議ノ時関田大石ニ両手ヲカケ曹ニ
白熊ノ引マワレノ付タルヲ風ノ吹マクルヲ両手ヲ以
テヲサヘ高声ニ先手ノ躰ハ落城トニ候ワカキ者
凡ヲ切テハナサレヨカシト云其風情骨カラテ勇士ノ

儀勢也木村乃河合小五郎ヲヨヒテコレニ若者氏ヲ
ツレテユカシムトソ諸將皆開田ヲ賞美コノモノ度々
戦功アリ木村河合ヲ取立シタメニ如此云ヘリ
磯野平三郎後改右近元織田信澄ニ仕ユ木村カ後石田三
成ニ仕フ其後藤堂高虎ニ仕ユ

加藤嘉明

川村権七一ノ佃二郎兵衛 荒川甚右衛門 井上加之助

黒田久兵衛 飛松兵助 川合九郎兵衛

右イツレモ朝鮮征伐以来戦功アリ関原役与州真崎
へ毛利家出勢ノ時佃并ニ中嶋庄右衛門安達半
右衛門等謀テ三津へ夜討荒川云ケルハ今夜ノ夜
打ハカヘリウキナレハ利アルヘカラズト云ヘリ果メ荒川

井上ハ戦死ス其後毛利兵ト力戦黒田飛松川合打死セリ

土方宇右衛門

朝鮮後ニ属嘉明或時上使戦死ノ風説アツテ

嘉明カ方へ告来土方此使ヲウケトリ嘉明ニ告嘉
明少ラク思慮ノ上使打死ノ上ハ嘉明等モ再歸朝不可叶ト返事
ス土方此使ヲウケトリ云次テ大ニ驚嘉明戦死ニライテハイツレモ家人不
可歸朝ト悲歎ノ氣出ルノ処又使来テ上使打死ノ由ハ虚説ノ告アリ此
使土方又云次ケルカ大ニ悦テ急嘉明ノ前ニ出テ然云土方憂喜易地
テケレハ嘉明イカ、可存ト土方後悔セリト後ニカタレリ関原役ニ岐阜
城ニテ戦功アリ後為御家人

田中吉政

宮川大炊

初名市左衛門神 戸川越一番首

田中采女

初氏中村神 戸川越戦功

辻勘兵衛

後改 肥前

西脇五右衛門

松原善左衛門

此三人神戸川越ノ後杉江勘兵衛トセリ合打捕タル

ト云ヘリシカレトモ辻ハ杉江ニ言ヲカケ通りサマニ鎗

ツケ乃物ワカレイタシ別人ヲ打捕也西脇杉江ト互ニツ

キ合テ久シクセリ合処へ田中吉政アトヨリ来テ言ヲ

カケテ情ヲ出サシム西脇疵ヲ蒙ルニ付テ松原ワキヨ

リ突倒シ首ヲトルコレユへ兩人甲乙ノ争アリ吉政筑

後拜領ノ後磯野伯耆守処へ吉政ヲ入テ初麦ノ振舞

ニ西脇松原甲乙ノ争ニテ今以不通ノ由ヲキ、乃其

場ニテ双方へ同文言ノ感各ヲシタ、メテツカワシ中十

ヲリ也

松原後越前領三千石西脇仕加藤清政七百石ヲ

田邊甚兵衛

十歳ニテ関原時家人ト歎テ突倒シ首ヲトラセ

出勢ノ中ニ入ニ出タル也黒田長政田中カ処ニ至リ此者ヲヨヒ

出メ孟ヲ与へ家人ト出メ様子ヲキク馬ヨリ懐ヲロサレカヲヌ

云ヘリ

キテワナクトフル井テ首ヲトトリトツ長政大ニ感シフルワズニカ

カリタラシニハ無途方テノト可云フルフテカ、ルハ勇士ノ實也ト

云ヘリ

有馬豊氏

稻次右近

後改 壹岐

度々戦功アリ関原役ニ杵瀬川ノセリ合

ニカ戦横山監物

又号ヲ 削監物

ヲ組討ソノ上花木外記ト

ヤリヲ合ス

寛永九州嶋原一揆征伐時稻次八十歳ニテ

乗出ノ上使石貝十藏ニ謁シ云ケルハ此差物ハ代々ノ公方へ
上覧ニソナユ此度上使ヘミセ奉レハ將軍家へ上覧ニソナフルニ
不異ト云ヘリ終ニ夜打夜戦死

太田半平

岡本清三郎

後号弥市右衛門判髮云道可仕藤堂高虎

篠瀬左太夫

後仕上総外忠輝卿初仕大須賀康高長久手フリアイヨシ

浅野彦兵衛

土方六左衛門

滝半左衛門

池田又ツヘイ

杉浦能登路

右イツレモ関原役杵瀬川ノセリ合ニ戦功アリ

事見関原日譜

篠瀬左太夫此時鎗ノアフタルト云沙汰アリケレハ岡

本云ケルハ左太夫カ鎗ハ長カリシモノ也左太夫ヨリ

先ニ岡本カ居タリシカルニ岡本サヘアワサル鎗ニ左

太夫鎗ノ沙汰ハ不審也ト云左太夫キイテ人ヲソ

子ミテ我鎗ノヲラステ、云ト云ヘレハ岡本シカラズ下

薦ノタトヘニ鳩ヲニクミテ太豆ヲウヘヌト云ヲアリ豈

夫然哉左太夫カ鎗長カリシモノ也ト云ヘリ

コレヨリ俗ニ左太夫カ

鎗ニテ長スキ
タリト云ヘリ

左太夫大坂役ニ忠輝卿ニツカユ軍事諷

諫見大坂紀

関信盛

葉若藤左衛門

岩間三太夫

同勘兵衛

穂積喜太郎

櫻井吉兵衛

萩権右衛門

豊田新右衛門

草川仁兵衛

自前代以来 此門は 豊田新右衛門 草川仁兵衛 二人に 傳へられたり

此門は 葉若藤左衛門 岩間三太夫 同勘兵衛 穂積喜太郎 五人に 傳へられたり

此門は 櫻井吉兵衛 萩権右衛門 豊田新右衛門 草川仁兵衛 四人に 傳へられたり

此門は 葉若藤左衛門 岩間三太夫 同勘兵衛 穂積喜太郎 五人に 傳へられたり

此門は 櫻井吉兵衛 萩権右衛門 豊田新右衛門 草川仁兵衛 四人に 傳へられたり

此門は 葉若藤左衛門 岩間三太夫 同勘兵衛 穂積喜太郎 五人に 傳へられたり

此門は 櫻井吉兵衛 萩権右衛門 豊田新右衛門 草川仁兵衛 四人に 傳へられたり

立花宗茂

十時攝津守 判髮号
撰齋

屋山中務少輔

屋山ハ高橋紹運家臣筑前岩屋城ヲ預ル十時ハ戸

次宗茂カ家臣也 紹運者宗茂實父
宗茂為戸次養子 紹運岩屋籠城時

宗茂十時ヲ岩屋ニツカワシテ諷諫ス屋山元岩屋城

ヲアツカルユヘ紹運ニ代テ戦死ヲ乞紹運不肯守城

自殺屋山同戦死子屋山太郎十三歳ニテ戦与父戦

死屋山度々ノ戦功アリ十時亦宗茂老臣雄才アツテ

武功多 院戰死

小野理右衛門 岩屋落城後秋月岩屋ニ番兵ヲ置宗茂兵小
野忍入テ放火岩屋落城

立花三太夫 関原役ハ 小野和泉守 立花吉右衛門

由布美作 元名七
右衛門 八院ノ戦ニ関ノ声初ヒキカリシガ次第

ニ高クキコユ立花カ城兵各味方勝利ナリト喜ケレハ

由布聞テ先手敗軍ノ追立ラル、モノナルヘシト云ヘリ

果ノ如其言

藤堂高虎

藤堂仁右衛門 関原役ニ大谷兵岩佐五助ヲ討取大坂夏役
戦死

同新七

関原役ニ早キ頸ヲ獲諸手ノ一番頭ナリト云ヘリ大坂夏役戦死

同玄番

元関白秀次家人高虎同氏故ニコレヲ招ク関原役神子新吉ヲ討取ル新吉カ家人玄番ヲ討ツ玄番秀次自殺ノ時殉死ヲノカレ不快因此此度必死ノ志ヲ旨トスル也

素名弥二兵衛

元長曾我部家人大坂戦死

藤堂式部

大坂役一番頭也旗本ノ一番頭八沢田平太夫

同采女正

井伊掃部頭倫へ使ニ往テ戦功

長曾我部元親

吉田倫中守

武久肥後守

素名藤藏人

江村倫後守

国吉

姫倉

イツレモ老臣也

中内源兵衛

十市新右衛門

凡元親取立ノ勇士老功ノ者合世二人ト云ヘリ

京極高次

赤尾伊豆守

山田大炊助

後改多賀越中守

黒田伊与守

安養寺三郎左衛門

判髮号聞齋

三田村安右衛門

今村掃部助

友岡新兵衛

浅見藤右衛門

元江州京極家人中仕関白秀次後属京極関原役由井太郎左衛門門役ヲイタシ味方ヲ立出

龍造寺政家

鍋嶋 漆嶋 田嶋

鍋嶋安藝守 成澄若狹守 兩人、鍋嶋共関原時与立花八院戦ニ大將タリ

成瀬十右衛門 伏見城鍋嶋手一番乗

大隈排進 ...

...

伊達政宗 片倉備中守

伊達安房守成實 シケサ子 元實子政宗之伯父

伊藤肥前守 原田休雪 子左馬助大坂役武者奉行

濱田伊豆守 小山田筑前守 見大崎義隆傳

白石若狹守 素折点了 コラリ 小梁川貞範 テイハシ

保土原江南 濱尾善齋 兩人ハ元二階堂盛義武者奉行後 芦名盛重武者奉行後属伊達

政宗武者奉行ハ元小山田筑前伊藤原田也

石川孫兵衛 小川藤次 岡八郎右衛門

濱田治部 後改北川 二郎兵衛 右各関原役ニ白石福嶋及初瀬

堂前ニライテ戦功

...

佐竹義宣

宇留源兵衛

佐竹家雄才武功ノ譽人稱之為武者奉行

涉江内膳梅戸半右衛門戸村十太夫戸塚九郎兵衛秋

山兵庫 此者氏大坂信貴野堤ニテ力戰々功涉江戰死

山形義光

志村伊豆守

初瀬堂城主関原役戰功後庄内酒田三万石餘ヲ領ス

下治右衛門秀久

元上杉家臣関原役与志多修理一守庄内後降山形領二万石改對馬守

義光子駿河守時越後高田城普請奥羽大名勤之其

節駿河守庄内へ出テ所ヲ巡檢此比家臣一栗兵部

逆心ヲ企テ親家ヲ害セントス志村九郎兵衛

相續下對馬守ニ此事ヲ談ス兩人堅留之且他言不可

有ヲテ堅約ス一栗尚憤テ親家庄内ニ逗留ノ間三

度火ヲ放ツテ親家出馬ヲ伺フト云へ氏事不成コノ上

ハ我必ス罪死ニ可及ト心得志村下兩人トサシテ各祝

ヲテ企親家ハ庄内ヨリ越後ニ至レリ其アトニテ各祝

儀ノ振舞ヲ十セリ新関因播守処へ兩人并ニ一栗モ

振舞ニ往ノ時一栗カ宅ノ前ヲトラルユへ究竟ノ時

分ト心得ヨイヨリ妻子ヲサシコロシ下人五十余人ニ
必死ノ思ヲ約シ屏柱ノ根ヲヨイヨリ引切テ指置
刻限ニ及兩老臣トアリサマニ一粟ヲサソイニ人ヲ
ヨスル一粟乃出合已カ屋ノ前ニテ兩人ヲ一太刀ツ
ニ切フスルツノ内ニ屏ヲタラシ内ヨリ出合兩人ノ下
人氏悉ク追拂ツイニ一粟自殺 志村九郎兵衛子九郎左衛門
似金ノ罪ニテ族滅
里見越後守 上山城主関ケ原役ニ初瀬堂ニライテ戰功子民部
ハ上山ニライテカ戰ノ功ヲ立因此庄内ヲ賜ラシ
ヲ乞義光不肯義光与子修理大夫不和ノ時越後守持兩端已カ甥
勘四郎ヲ修理大夫ニ付置因此罪出奔江州憑戸田一西義光構之
故能別今不動ニタシク蟄居終ニ庄内ニ至テ志村伊豆守ヲ憑
判髮号道ニ末子市正二人下對馬守コレヲ与ル嫡子民部并民部
子推兵衛ハ志村伊豆守コレヲ与ル民部弟河内ハヨリノ守護代
立岡豊前守アツケラレ義光卒去ノ後各罪死推兵衛ハツノ前病

死越後守嘗約殉死當義光懇遇義光卒不殉死故一族皆罪死
推兵衛ハ突修理大夫也

江口五兵衛 出羽畑屋城主関原役城ヲ堅守戰死

山边右衛門 酒延越前 富南相模

湯村信濃 初瀬堂ノ戰ニ戰功アリ

凡ソ最上庄内ノ内義光ノ城十六ヶ所其内山边右

衛門 義光末子 上山内膳 上山城主上山内膳養義光子号上山内
膳已ハ大山筑前ト改テ下對馬守アト

二万石ヲ領ス元長床氏 也住庄内大山故為氏 兩人ハ義光子守之

里見勘四郎 越後甥也越後守嘗對義光約殉死義光父子不快
時以勘四郎附修理大夫義光疑越後守故越後守

執勘四郎一族悉罪斬之以示已無戴心勘四郎憤之修理大夫
登高野山之時勘四郎不從至仙臺漆身吐炭易其形欲伐越後
守終不克斬其三男且欲伐罪斬之奉行三户石見偽為脚力捧
唇函乞直謁伐之其後越後守浪々故勘四郎不欲伐之至津輕

為祿士越後守至庄内勸四郎乃馳庄内昼夜偵之密入越後守
居寢所越後守乃投腰刀伸已首云汝久辛苦不安寢食大為窮
猛之事我甚感其志速來攜我首報汝族勸四郎驚駭悲歎而又
投刀鬪冠離之志後至仙臺終仕紀伊亞相公為旗奉行領千石

中山玄番 元庄内先方

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 中山, 玄番, 元庄, 内先, 方, 勸四郎, 越後守, 仙臺, 紀伊, 亞相, 公, 旗奉行, 領千石.]

酒井忠次

高力喜兵衛

石原統度^ズ右衛門^ト

姉川戦ニ大ニ勇功信長称褒之

大津土左衛門

吉田戦ニ山縣同心三科肥前守ト鎗ヲ合

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including names like 酒井忠次 and 高力喜兵衛.]

井伊直政

木俣清左衛門

元三郎信康卿家人後御家人

椋原次右衛門

懸川城責ニ伊藤武共衛ヲ打取長久手役椋原為直政旗奉行

西御藤左衛門

此三人イツレモ御家人ノ列タリ乃直政力家老タラシメ玉フ三人イツレモ人衆持也

近藤

鈴木

菅沼

此三人井谷三人衆乃直政与力也

一条

山縣

土屋

原

此四家ノ侍甲州征伐以後悉直政与力也

事見武田家傳

石原主膳

元北條陸奥守氏照家臣天正十九年直政為家人与千五百石関原役ニ石原瑞竜寺ノ取出へ直政旗ヲラシアテ

瑞竜寺一番乗ト称ス浅野幸長共既取堅ノ処如何ト云ケレハ石原キイテ一番乗ナラハ幸長ノ旗ハイツクニアリヤト問因此トカク

議論ニ及扱ニナリテ石原引トルト云々 事見語類三十卷

朝比奈左太夫

後改武藏元北条家兵差物三国一トカケリ奥州九戸征伐時木俣力與力何右衛門ト云

モノ、取レル頭ヲ奪テラノレカ高名トス其日ノ高名改ニ何右衛門出テ其由ヲ云シルシヲ付テラキタル一歴然ユヘニソノ夜ニ左大夫出奔スシカレトモ度々有功ノモノユヘ後三川守秀康ニ仕ヘテ本知千石ヲ領也或云脇五右衛門ト甲乙ノ争ニテ立退ク云々 事見語類三十卷

脇五右衛門

天正十年脇廿七歳ニテ御家人ニ召出サレ直政ニ付玉フ関原ニテ戦功蒙疵アンタニテ源君へ奉謁

大坂役ニ廣瀬三科死ノ廣瀬カ場ハ脇三科場ハ三浦与右衛門ニ命セララル、也

廣瀬三科

事見武田家臣傳 兩人直政軍事ノ奉行タリ

横地修理

元北条安房守氏郡力電男度々戦功アリ大坂役武者奉行ヲツトム

石黒將監石原五郎右衛門根津江左衛門柏原平兵衛

脇又市ハ駿河先方脇善兵衛養子也長條ヲ一ヶ所疵ヲ蒙テラセ五歳ニテ上州漸城ヲ勇功アリ見甲陽軍鑑世之世葉

関至氷向山久兵衛和田深田三浦二郎兵衛中村與兵衛イツレモ甲州衆長久手以来度々ノ戦功アリ

甲州衆ノ内廣瀬美濃守三科肥前守兩人源君ノ仰ニ因テ直政備ノ下知ヲナス甲州征伐八嶽御對陳ノ時分ヨリ甲州衆悉ク直政ニ從テ軍事ヲ下知ス長久手役ニ廣瀬六十四歳テ直政旁ニ引付テコレアリ三科ハ直政備二三町アトニヒカヘテ下知ス小田原役ニ源君直政カ陳へ出御アツテ先兩人ヲ召ノ軍事ヲ命セラレ其後三好秀次尾張信雄蒲生氏卿中村一氏ニ此兩人ヲ引合玉フテ信玄ノ時代ノ物語ヲイタサセタマフ

直政諏訪原山ヨリ備ヲ率尔ニ不可下ノ旨度々軍使ヲ以テ源君ヨリ命シ玉フ此時モ廣瀬不苦ト云ニ

付テハ御心易トノ上意也 後蒲生氏卿曾根下野ヲ以テ

ヘ氏源君ノ御懇 七千石ヲ与ヘ會津ニ招ト云 遇ヲ存シテ不肯 曲淵庄左衛門过弥兵衛同直政與力

也小田原役ニ源君曲淵カ刀朱鞘ニウテヌキノ付タル三尺余アルヲ帶シ秀吉ヲ迎ニ出玉フ秀吉此刀ノ事尋玉フニ付乃曲淵カ一秀吉キ、玉フテ曲淵秀吉へ

拜謁此時曲淵九十有余

猪子才藏

山縣同心上州箕輪城責ニ法房寺小口ニテ才藏 胴ヲ打ヌカレタルヲ歎出テ首ヲトラス其歎ト三科 傳右衛門ヤリヲ合廣瀬卿左衛門猪子ヲ引カケノク後直政へ 付サセ玉フ

和田加次 同組ノモノ也同召出サレ直政ニ付玉フ箕輪ノ戦ノ夏首尾不合ノ沙汰ニ付テ改易セラレ後鳥居元忠カ家ニ在リ

大坂役直孝武者奉行孕石源右衛門廣瀬左馬助濃

子七日力戦討死武者奉行横地修理使番半夜宮内

吉川理左衛門但六川手主水水庵原助右衛門組頭

安藤長三郎討取木村八田金十郎討取

同主税助右衛門功山口左三浦與右衛門足輕大將七日ニ戦功アリ三浦二郎共馬助

長坂十郎左衛門 後改長野民部小田原笹郭戦功初名濱川傳藏

本多忠勝

松下勘左衛門 勾坂與五兵衛 源君ヨリ付玉フ与力也

梶金平 後御家人ニ召出サル 外山小作 味方原ニテ力戦

一浦九兵衛 牧野宗二郎

関原役ニ山口主水水永田角右衛門加藤忠左衛門吉原

新助長野新四郎青山三四郎浅井小兵衛 但浅井永田八義濃

寺忠政ニ從テ上田表ニテ戦功アリ

林風東翅

柗原康政

村上弥右衛門

酒井カ家人戸田左門忠勝カ家人関金平柗原家人村上一度ニ御家人ノ列タリ

伊藤忠兵衛

康政老臣也

同顔助

元康政草履取也大力早業超倫タルユヘ忠兵衛ニ命ノ氏ヲ與ヘシム甲州征伐ノ時板垣同心平原宮内狼籍ノ時ノ助クニトメ大ニ疵ヲ蒙ル後足輕百兵士三十ヲアツケ九戸役ニ先陳ラツトメシム後疵ヲコリ病死

岡部五郎兵衛

丹波守子於長久手戦死

本多忠頼

大須賀康高

久世三四郎

坂部三十郎

渥美源五

俗ニ首取源五ト云

福岡太郎右衛門

丹羽弥三

曾根兵左衛門

丹羽金十郎

以上横須賀七人衆ト云也小栗又市ハ

當分蟄居ノ時横須賀ニアツテ戦功アリ

大須賀忠高

大久保忠世

牧野小六

後仕紀伊亞相公

度々戦功アリ九子表戦ニカ戦寒川ヲコストキ指物
ヲ川ニ十カセリシカレモソレニテ越度トテスタル勇士ニアラス

大久保平久

後号彦左衛門
銀ノアケ羽ノ蝶差物

同権右衛門

凡ニ忠世弟度々ノ
戦功アリ後御家人

タリ牧野ハコレヲモ直下ニミルモノ也九子表ニテ兩人モ川ヨリ
手前ニテ立カヘリ力戦

天野金太夫

九子表ニテ戦功アリ小笠原越中波切孫三ト三人ヲ
ツカヘ忠隣有故配流江州小田原地下乱妨ノ輩教輩天野切挂其首於町
口因此乱妨忽止

本多主水

高天神城責討取城將岡部丹波守九子表有戦功

乙部藤吉

黒柳孫左衛門

九子ニテ本多乙部ハ弓黒田ハ鉄炮
ニテ殿ノ引トル乙部一ノ矢ヲ射ソ
ナフテ敵ニ鎗付ラル黒柳ソノ敵ヲ打タシ引トル

平岩親吉

尾崎左門

九子表ニテ戦功アリ

本多康重

鳥居元忠

牧又兵衛

岩付城責ニ城ノ矢間ヲ射開テ味方利ヲ得

杉浦藤八郎

甲州征伐ノ時八嶽對陳ニ戰功アリ組頭也

鳥居推平 一色三十郎

杉浦合セテ三人因元ヨリワサト上京シ伏見城ニ入テ戰死ス人以稱之

濱嶋無手右衛門

元忠カ命ニ因テヒソカニ城中ヲシノヒ出テ小山ヘ使ニ行也此時寄手既ニ城ヲトリマイテ

往來不叶ノ時分也濱嶋ニ杉浦等関地藏ニテ逢城中ノ体ヲ聞テ本道ハ難叶伊賀越ヲシテ伏見ニ入コレテ同道ノモノ七八人皆路次ニテラクレ城ヘ不入也朝岡忠右衛門モ右ノ三人ト氏ニ城ニ入ト云々

水野信元

矢田傳一郎

苅屋十八町ニテ一番鎗但信元與源君鉾楯ノ時也

瀧見弥平次

梶川五左衛門

丹羽喜右衛門

久米卿左衛門

鯨边木工久

畠木主水

神谷神七郎

右十八町ノ取合并石瀬等ヲ度々戰功

鈴木與八郎

和泉守忠重時尾州星崎城責ニ城兵須賀多左衛門ト鎗ヲ合須賀ヲ橋ノ下ヘ突落ス

久田勘十郎

右星崎ニテ戰功後改孫右衛門仕紀伊亞相公

波々伯鞞負

元名十郎三郎右同戰功後至越前

川村新八郎

討取薄田隼人

杉野數馬

大坂夏役一番首

此者氏八日向守

忠勝時大坂役ニ有功

菅沼定盈

今泉四郎兵衛延傳 菅沼又左衛門

初定盈攻取刑部城又左衛門守之

菅沼権右衛門

大坂役打取井上小左衛門

奥平信昌

奥平左忠 豊田玄心 庄田玄番 菅沼五郎太夫

奥平左忠ハ後松平飛彈守老臣タリ

鳥居強右衛門

於長篠忠死子勘右衛門大坂六日戦討死

奥平金弥 神田長右衛門

松平下総守ニ属メ大坂ニライテ六日戦ニ戦功アリ菅沼何右衛門

山田十郎兵衛鳥居三人ハ先ヲ争テ戦死

山田半右衛門

度々戦功アリ関原役ニ信昌京都ノ守護トシテ安国寺ヲ生捕ニ山田ヲツカワス山田イタルノ処安

国寺家人安国寺ノリモノ、内ニ居ラ一カニキラントス山田コレト組テ仕留又江戸御入国ノ比和多倉橋ノ向石ノカケニ仇ヲ子ラフ輩待伏イタシ松平下総守ヲ見ソコナイ仇ト心得伏ヲコルトキ山田先ヘノリヌケ言ヲカケ下総守ナリ率尔ノ一不可致ト云ケルユヘ事出来サル也

奥平左兵衛

下総守家人御上洛参内ノ時諸將ノ下人一兩輩ノ外不僕ノ衣ヲ著シ渡器ヲ持タル草履取ノ外堅不入コトキ礼服ヲ脱シテハキノタメナリトゾ

川井次太夫

八幡林ノ戦為信昌旗奉行有戦功

岡部長盛

櫻井縫殿助 大塚八右衛門 劔持次郎右衛門

長盛父正綱卒去ノ時ワツカ十六歳因此家中イフカシキ時分長久手ノ戦アリシユヘ俗ニ小船ニ荷ノ過タルト云風説アリコノヲキイテ櫻井アト兩人ニ相談シ此度三人ノ内一人戦死ヲトゲズシテハ岡部家不可安穩三人以正綱遺ト云フヲ談シ櫻井戦死ヲ乞大塚云ケル命輔佐長盛ハ昔日度々ノ勇功ヲアラワシ既ニ信玄ノ感昏ニ小馬驗ノ四半ニ劔ヒシノ付タルヲ指物ニ賜テ武田一家ニ此差物ヲ禁セラレシホトノヲナレハ此度打死トアラシニハ

某ヲノケテハ不可有之間兩人ハト、マリ可抽忠大塚打死ト云劔持キイテイツレモ尤ナレ氏源君并信玄へモ度々ノ使ニ出テ人ノ名氏ヲモ存タルハ劔持ナレハ某討死ライタサハ人々名ヲ可存間劔持打死ト云櫻井云シカラハ三人氏ニ討死尤也ヲナシクハ兩人ハ残テ家ヲ取立ラレヨカシ此事ヲ申出タレハ我ハト、マルヘキニアラス正綱ノ云ヲカレシ処モアレハ兩人ハ能分別イタサルヘシト理ヲ謁メ諷諫ス因此櫻井戦死ニキワマリ兩人ハノコツテ家ヲ守護ノ臣タリ長久手ノ戦ニ櫻井ツノ言ノ如ク真先ニノリ入戦死長盛モ首ニヲ得テ

ケレハ時人前言ヲ翻ス櫻井子松野與四郎ヲ六井伊

直政シイテヨヒトリ懇遇関原戦ニ戦死

鎗

小鹿又五郎 駿州人

鎗脇弓

奥山新六郎 遠州人

鎗下高名

野藤内 駿州人

場中高名

近藤平太 甲州人

崩除高名

内藤久五郎 甲州人

崩除高名

向山久内 甲州人

高名

笛吹十助 甲州人

右七人長盛内九子表ノ勸ニ戦功

天正十三

アリ後八月廿六日名御感昏ヲ賜ル長盛モ御感昏

ニアツカル劔持ハ別ニ御褒美ヲ賜フ大塚兵右衛門

小泉弥平次村松弥藏三浦次助等モ戦功アリ

某...

夕八時人前吉不繼久櫻井子松野與田即之入并伊

直政江小大日七上上櫻野與田即之戰死

小虎又直如 櫻野與田即之戰死

野藤内 櫻野與田即之戰死

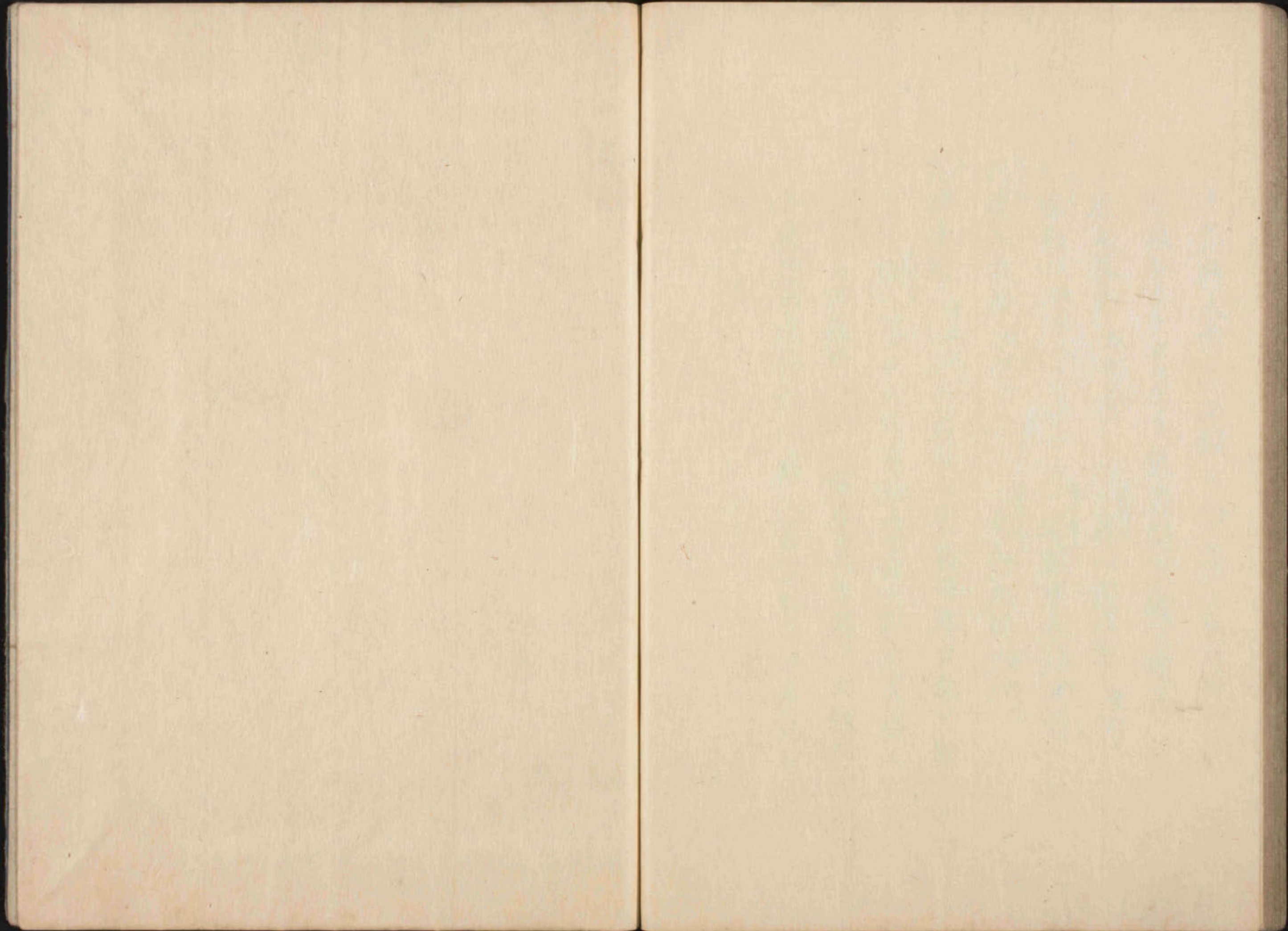
内藤久在 櫻野與田即之戰死

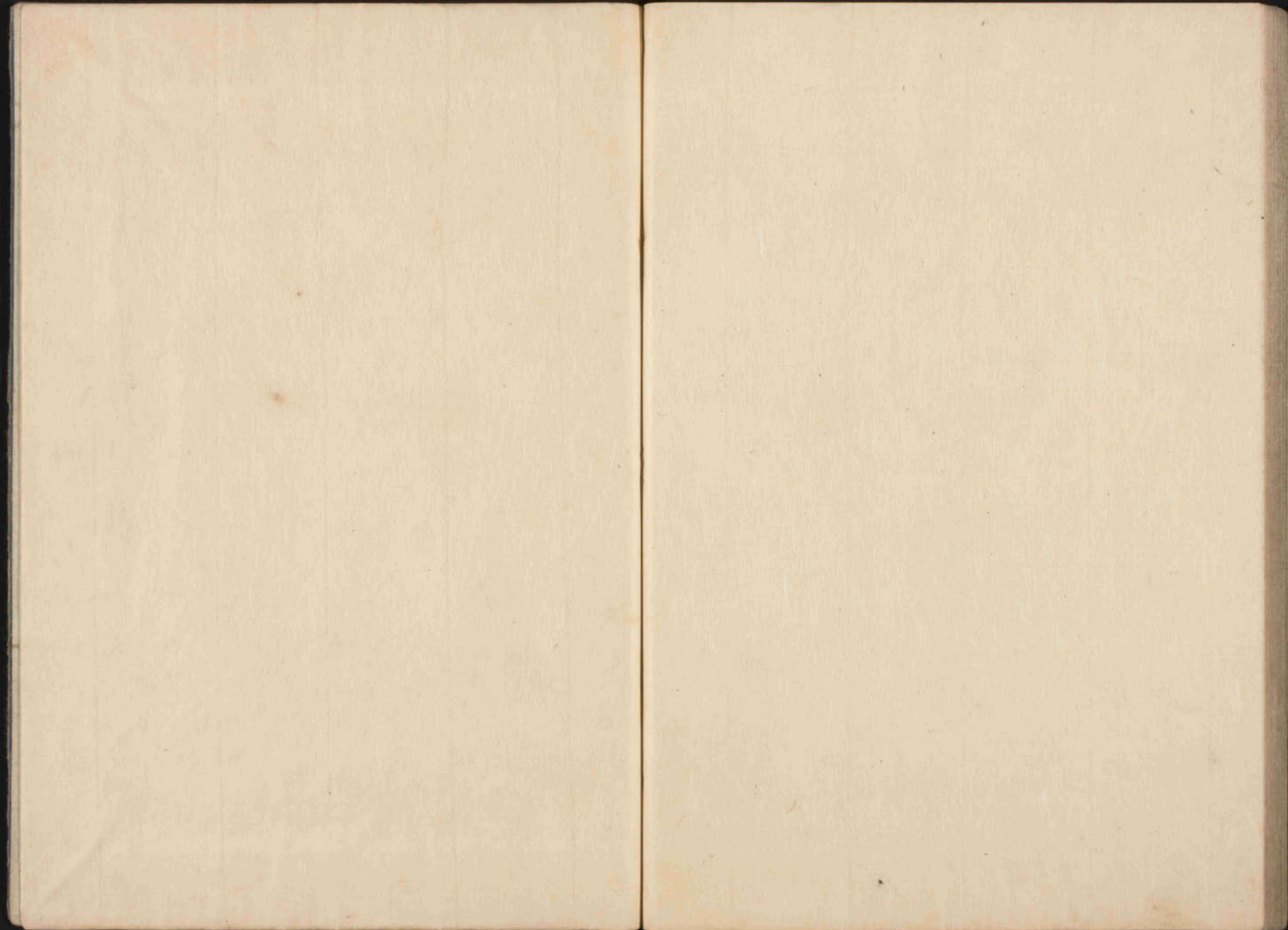
第廿十時 櫻野與田即之戰死

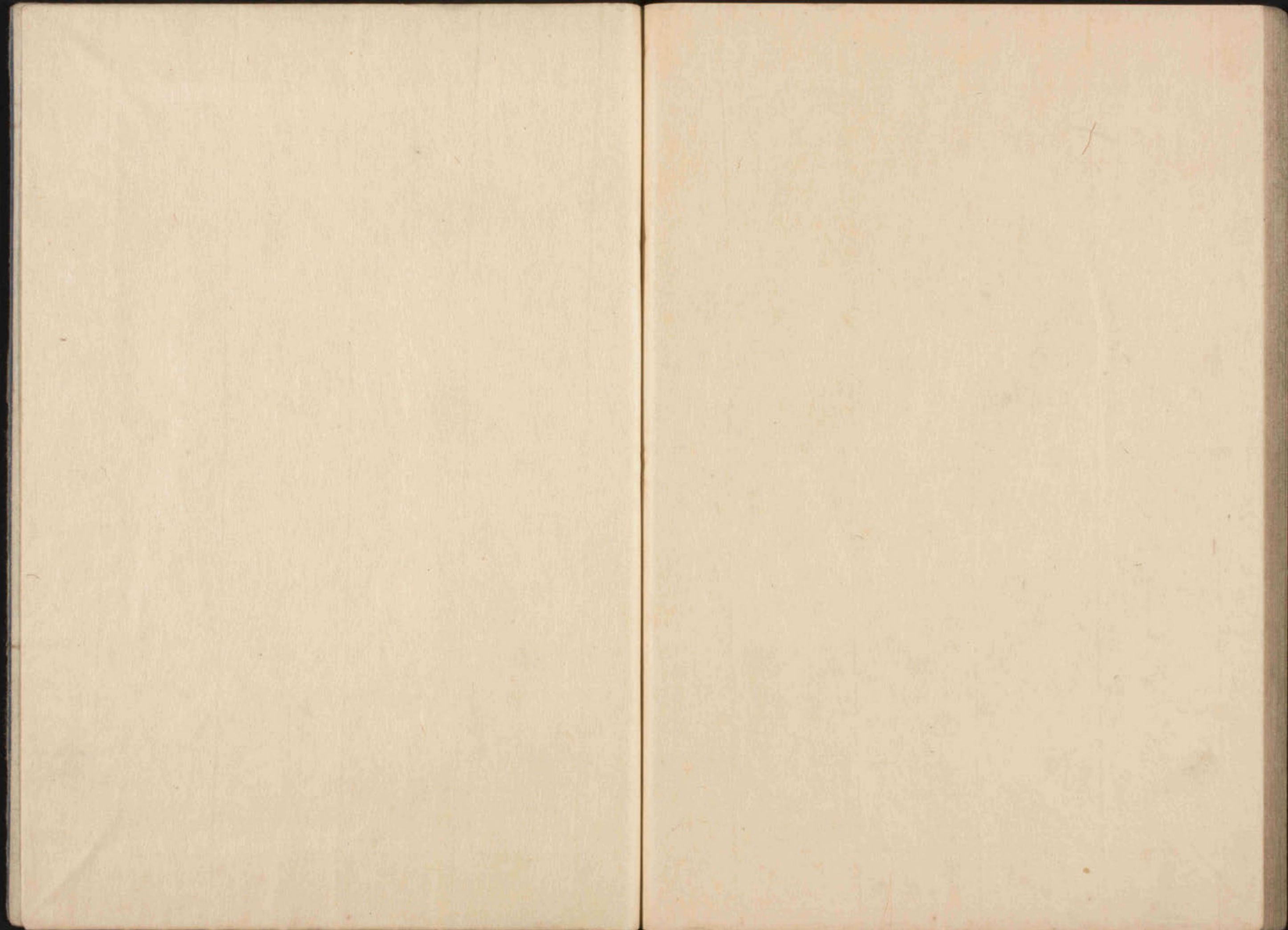
櫻野與田即之戰死

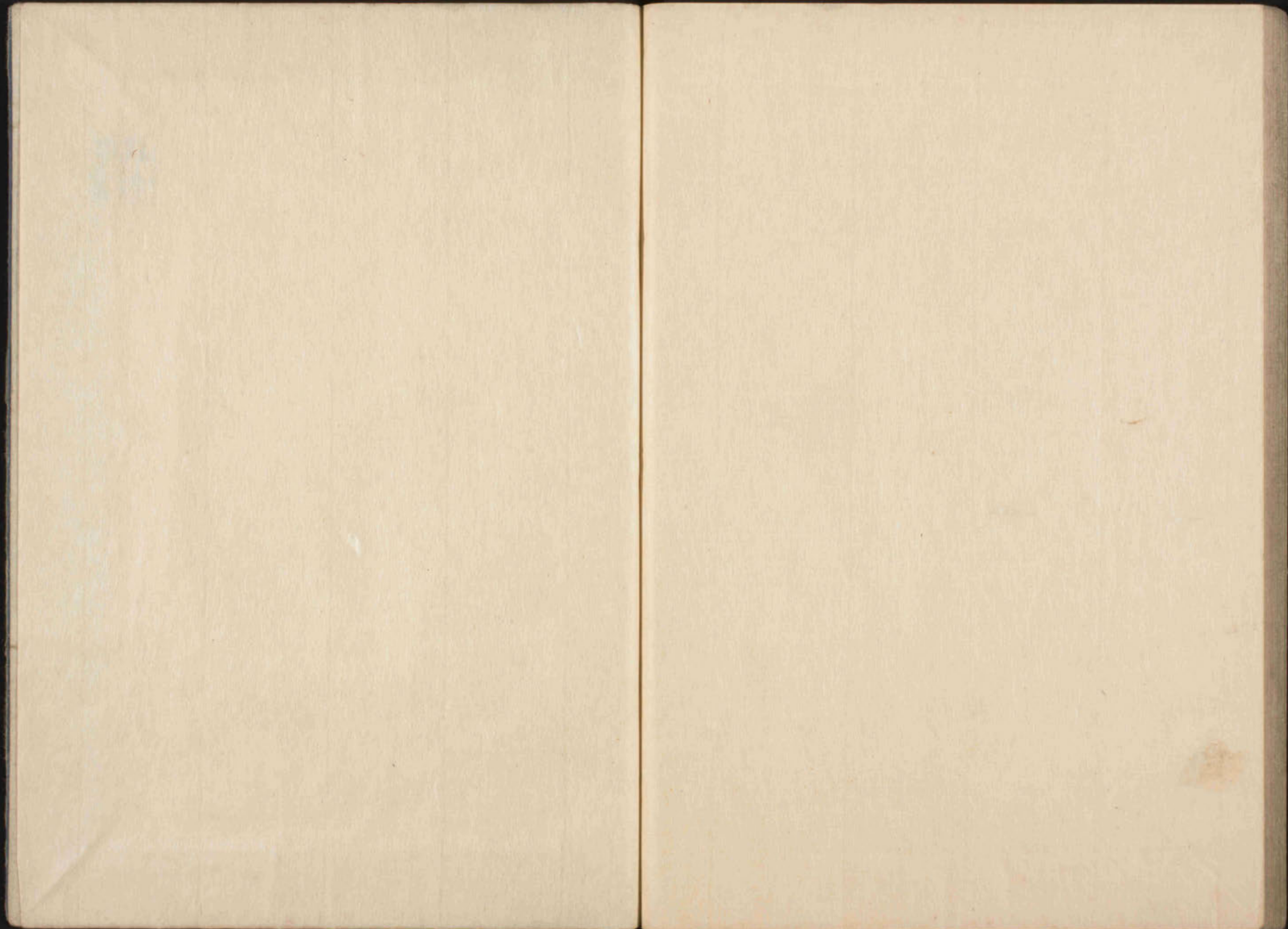
櫻野與田即之戰死

小泉於年次村松野與田即之戰死









27X
21
49

